

市民意見

まちづくりアンケート

まちづくりアンケート（団体）

まちづくりに関する意見募集

パブリックコメント

まちづくりアンケート

I 目的

第八次総合計画の見直しにあたり、市民意識の把握・分析を行い、政策検討の視点抽出の基礎資料として活用する。

II 調査期間

平成30年5月18日～6月8日

III 調査項目

■ 高山市への想いや生活環境について

- 1 高山市への「誇り」や「愛着」
- 2 高山市への定住意向
- 3 高山市の暮らしやすさ
- 4 日常生活での不安
- 5 働く場としての高山市の魅力

■ 高山市の市政運営について

- 1 市政運営への関心
- 2 今後の重要課題
- 3 高山市の取り組みに対する満足度

■ 協働のまちづくりについて

- 1 まちづくり協議会の認知度
- 2 町内会への加入状況
- 3 まちづくり活動に参加しやすくするための条件
- 4 重点的に協働で取り組むべき分野
- 5 協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの

■ 高山駅西側のまちづくりについて（記載省略）

- 1 駅西地区に訪れる頻度
- 2 駅西地区に訪れる目的
- 3 駅西地区の将来的なイメージ
- 4 駅西地区に期待する機能（施設）

■ 将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など（自由意見）（記載省略）

- 1 未来の高山市の望ましい姿
- 2 未来の高山市のための自分や地域の取り組み
- 3 その他自由記述

IV 調査方法

調査地域	高山市内全地域
実施方法	郵送による配布・回収、無記名式
調査対象	18歳以上の市民、3,000人
抽出方法	平成30年5月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

V 回収結果

発送数	3,000人
回収数	1,453人
回収率	48.4%

Ⅵ 標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)
性別	男性	612	42.1
	女性	773	53.2
	無回答	68	4.7
年齢	10・20代	93	6.4
	30代	130	8.9
	40代	205	14.1
	50代	222	15.3
	60代	337	23.2
	70代以上	447	30.8
	無回答	19	1.3
居住地域	高山地域	997	68.6
	丹生川地域	65	4.5
	清見地域	25	1.7
	荘川地域	19	1.3
	一之宮地域	43	3.0
	久々野地域	72	5.0
	朝日地域	24	1.7
	高根地域	3	0.2
	国府地域	114	7.8
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	65	4.5
	無回答	26	1.8
家族構成	単身世帯	156	10.7
	夫婦のみ	311	21.4
	二世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)	574 (192)	39.5 (13.2)
	三世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)	355 (192)	24.4 (13.2)
	その他(※1)	22	1.5
	無回答	35	2.4

		件数 (件)	構成比 (%)
職業	農林畜産業	73	5.0
	自営業	164	11.3
	会社員・公務員・団体職員	422	29.0
	パート・アルバイト・内職	249	17.1
	家事従事者	114	7.9
	学生	24	1.7
	無職	340	23.4
	その他(※2)	37	2.6
定住年数	無回答	30	2.1
	1年未満	21	1.5
	1年以上～5年未満	44	3.0
	5年以上～10年未満	42	2.9
	10年以上～20年未満	115	7.9
	20年以上	1,211	83.3
	無回答	20	1.4
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,272	87.5
	借家(アパート含む)	124	8.5
	間借	8	0.6
	社宅・寮	21	1.5
	その他(※3)	9	0.6
	無回答	19	1.3

「その他」の内容

※1 四世代世帯、姉と同居 など

※2 会社役員、契約社員 など

※3 老人施設入所 など

Ⅶ その他

- この報告書における「回答率」は、次の計算式により算出している。

$$\text{回答率} = \frac{\text{回答数}}{\text{標本数}}$$

回答率は百分率(%)で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100%とならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100%を超える。

- 過去の調査結果との比較について、比較対象は第八次総合計画を策定した平成26年度としている。ただし、問6～8は、複数年調査を行っているため、各調査年度(平成26・28・29年度)の結果についても比較対象とし、問9及び問13は、まちづくり協議会が本格的にスタートした平成27年度を比較対象としている。

■ 高山市への想いや生活環境について

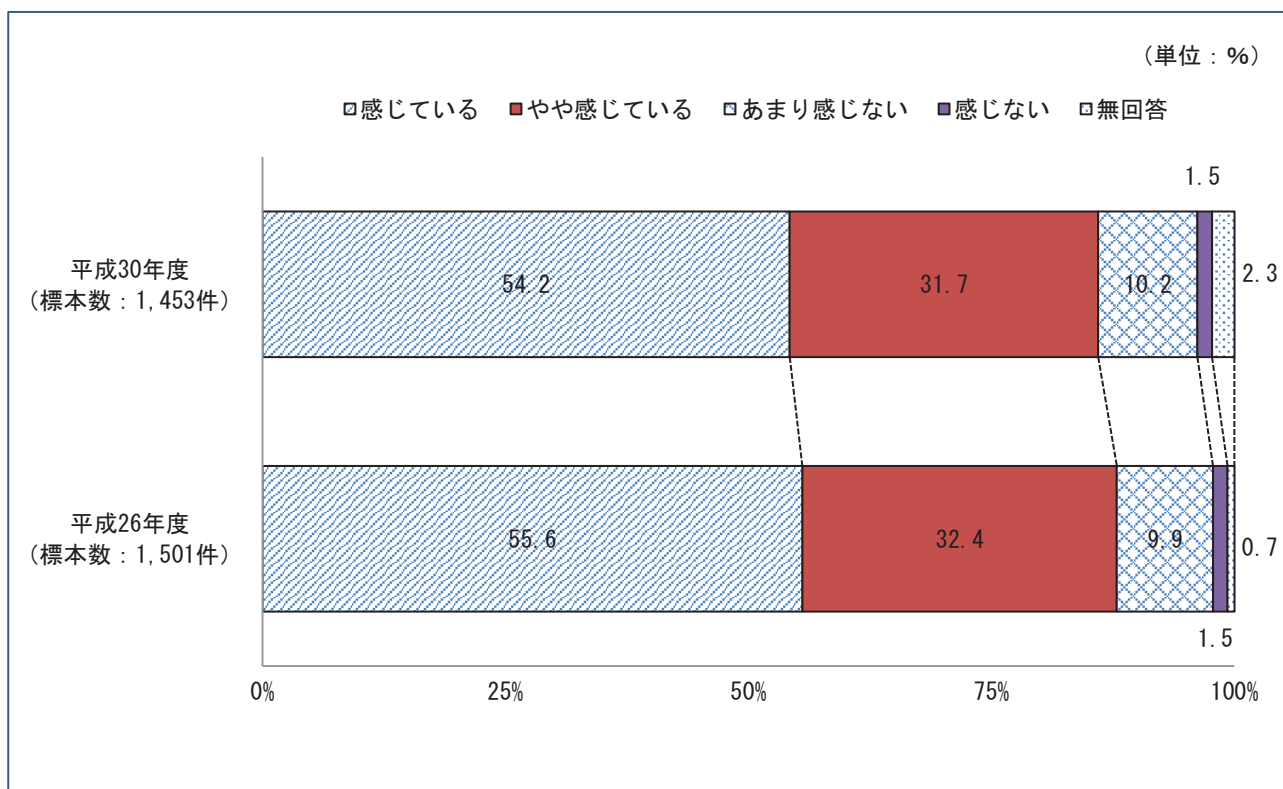
1 高山市への「誇り」や「愛着」

- ・「感じている」の割合が最も高い。
- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせると 85.9%を占めるが、前回(H26)の調査結果(88.0%)に比べ2.1ポイント低下している。

問1 あなたは、高山市に対し「誇り」や「愛着」を感じていますか。(1つに○印)

	回答数 (件)	回答率 (%)
感じている	788	54.2
やや感じている	461	31.7
あまり感じない	148	10.2
感じない	22	1.5
無回答	34	2.3
計	1,453	

(標本数 : 1,453 件)



1-2 高山市への「誇り」や「愛着」を感じるどころ

- ・「自然環境」の割合が、前回（H26）の調査結果と同様で最も高い。
- ・前回（H26）の調査結果に比べ「町並み・景観」の順位・割合が上昇している。

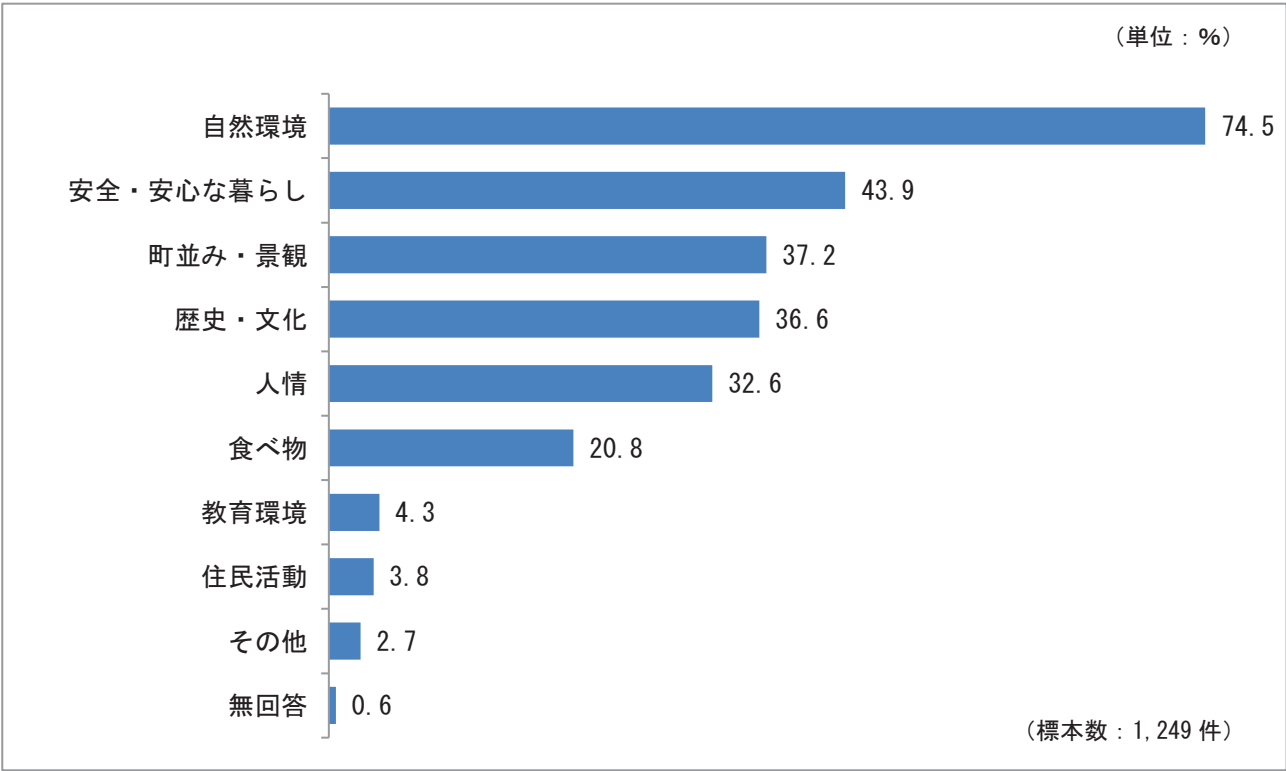
問1-2 問1で、「感じている」または「やや感じている」に○をつけた方に伺います。どんなところに「誇り」や「愛着」を感じますか。（3つまで○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回(H26)	
				順位	回答率(%)
1	自然環境	931	74.5	1	73.4
2	安全・安心な暮らし	548	43.9	2	43.9
3	町並み・景観	465	37.2	5	31.4
4	歴史・文化	457	36.6	4	33.4
5	人情	407	32.6	3	36.9
6	食べ物	260	20.8	6	23.3
7	教育環境	54	4.3	7	3.7
8	住民活動	47	3.8	8	2.8
	その他	34	2.7		1.1
	無回答	7	0.6		0.7
計		3,210			

(標本数：1,249件) (標本数：1,321件)

※「その他」の内容

・「生まれ育った場所だから」、「知名度が高い」 など



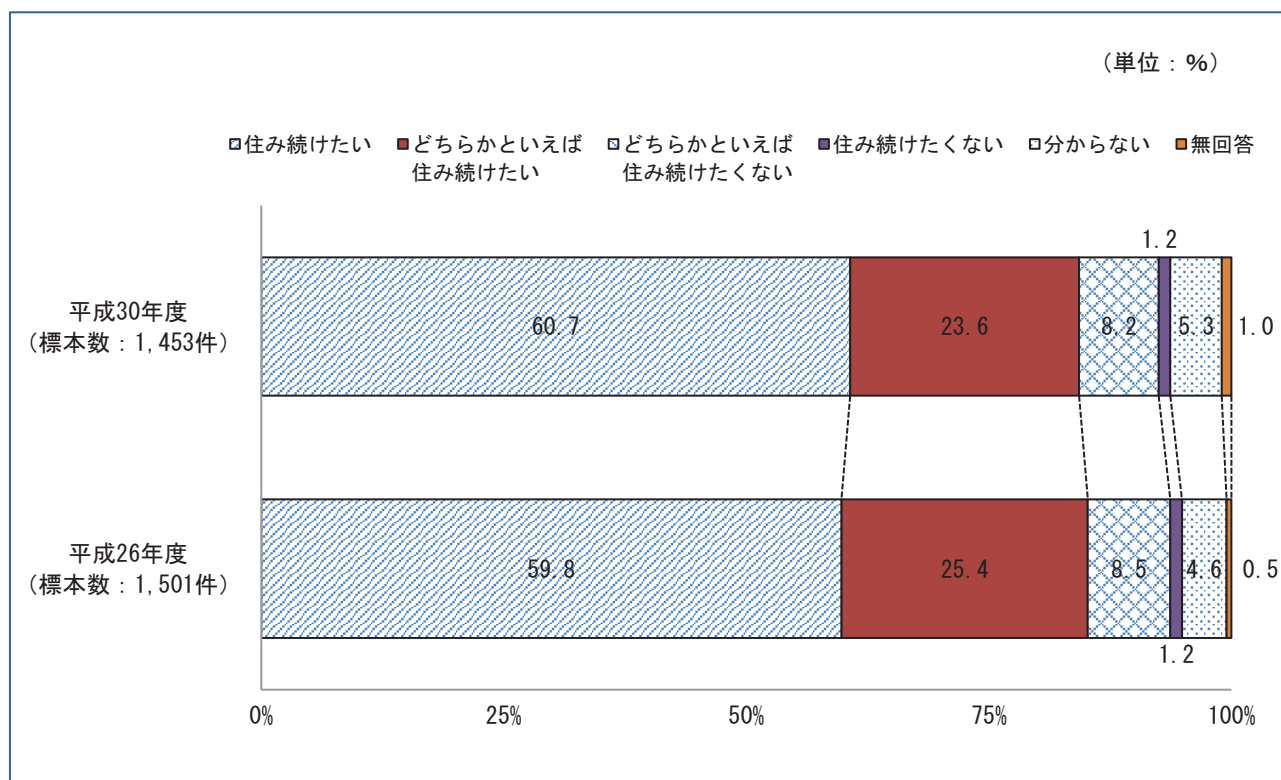
2 高山市への定住意向

- ・「住みたい」の割合が最も高い。
- ・「住みたい」と「どちらかといえば住みたい」を合わせると 84.3%を占め、前回（H26）の調査結果（85.2%）とほぼ同様である。

問2 あなたは、これからも高山市に住みたいと思いますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
住みたい	882	60.7
どちらかといえば住みたい	343	23.6
どちらかといえば住みたくない	119	8.2
住みたくない	18	1.2
分からない	77	5.3
無回答	14	1.0
計	1,453	

(標本数：1,453 件)



2-2 高山市に住み続けたくない理由

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が、前回（H26）の調査結果と同様で最も高い。
- ・前回（H26）の調査結果に比べ「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の順位・割合、「地域行事や近所付き合いが面倒」の割合が上昇している。

問2-2 問2で、「住み続けたくない」または「どちらかといえば住み続けたくない」に○をつけた方に伺います。高山市に住み続けたくない理由はなんですか。（3つまで○印）

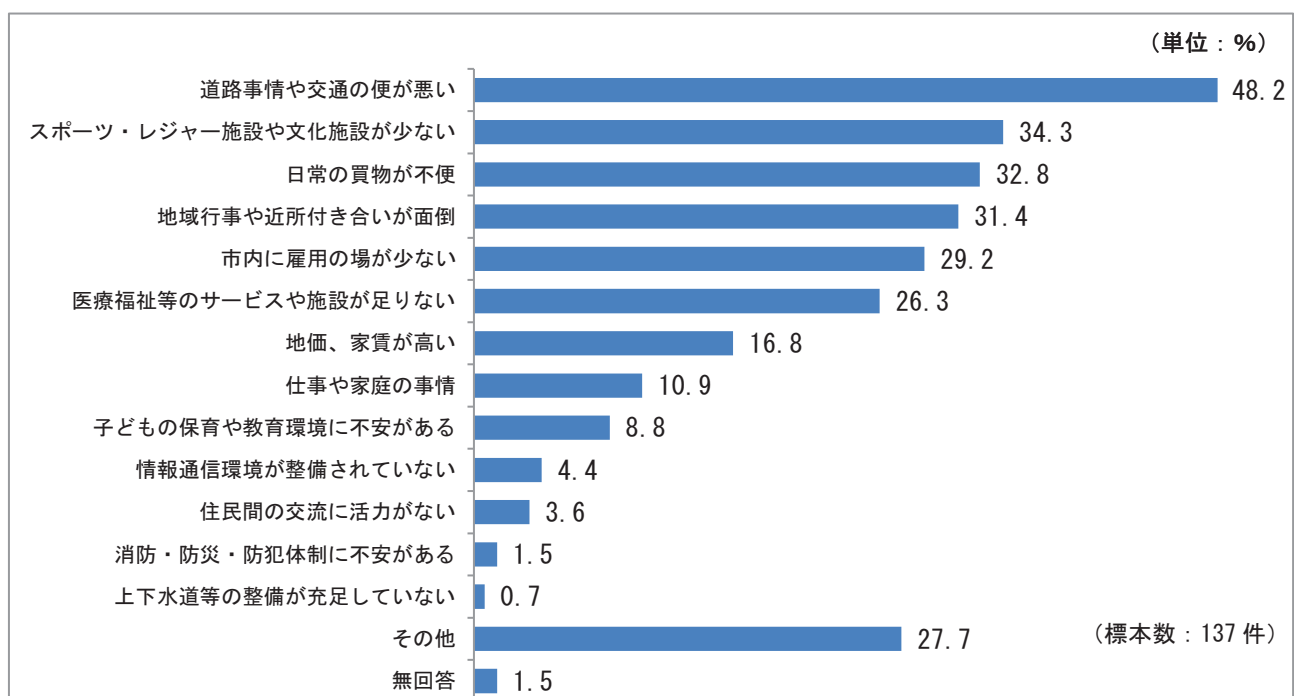
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H26）	
				順位	回答率(%)
1	道路事情や交通の便が悪い	66	48.2	1	41.1
2	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	47	34.3	5	21.9
3	日常の買物が不便	45	32.8	2	37.7
4	地域行事や近所付き合いが面倒	43	31.4	4	21.9
5	市内に雇用の場が少ない	40	29.2	3	33.6
6	医療福祉等のサービスや施設が足りない	36	26.3	6	18.5
7	地価、家賃が高い	23	16.8	8	12.3
8	仕事や家庭の事情	15	10.9	7	17.1
9	子どもの保育や教育環境に不安がある	12	8.8	9	8.9
10	情報通信環境が整備されていない	6	4.4	10	4.1
11	住民間の交流に活力がない	5	3.6	10	4.1
12	消防・防災・防犯体制に不安がある	2	1.5	12	2.7
13	上下水道等の整備が充足していない	1	0.7	13	0.7
	その他	38	27.7		21.2
	無回答	2	1.5		1.4
計		381			

（標本数：137件）

（標本数：146件）

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が厳しい（寒さ、除雪の苦労など）」、「老後の生活が不安」など



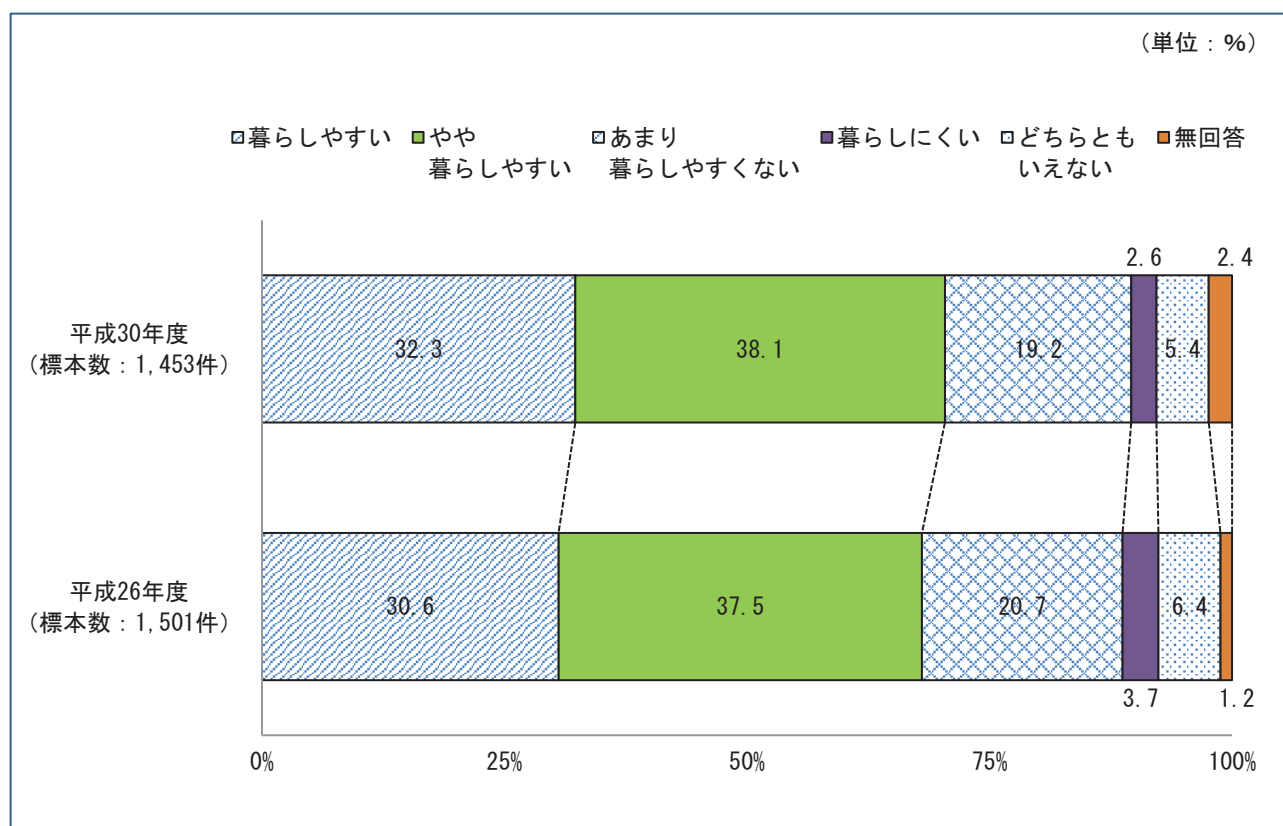
3 高山市の暮らしやすさ

- ・「やや暮らしやすい」の割合が最も高い。
- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」の合計は70.4%となり、前回（H26）の調査結果（68.1%）より、2.3ポイント上昇している。

問3 全体的に、高山市の暮らしやすさについてどのようにお考えですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
暮らしやすい	469	32.3
やや暮らしやすい	553	38.1
あまり暮らしやしくない	279	19.2
暮らしにくい	38	2.6
どちらともいえない	79	5.4
無回答	35	2.4
計	1,453	

（標本数：1,453件）



3-2 暮らしにくさを感じる場所

- ・上位から「道路事情や交通の便が悪い」、「日常の買物が不便」、「市内に雇用の場が少ない」、「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の順位は、前回（H26）の調査結果と同じである。
- ・前回（H26）の調査結果に比べ「地域行事や近所付き合いが面倒」の順位・割合、「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が上昇している。

問3-2 問3で、「暮らしにくい」または「あまり暮らしやしくない」に○をつけた方に伺います。どんなところに暮らしにくさを感じますか。（3つまで○印）

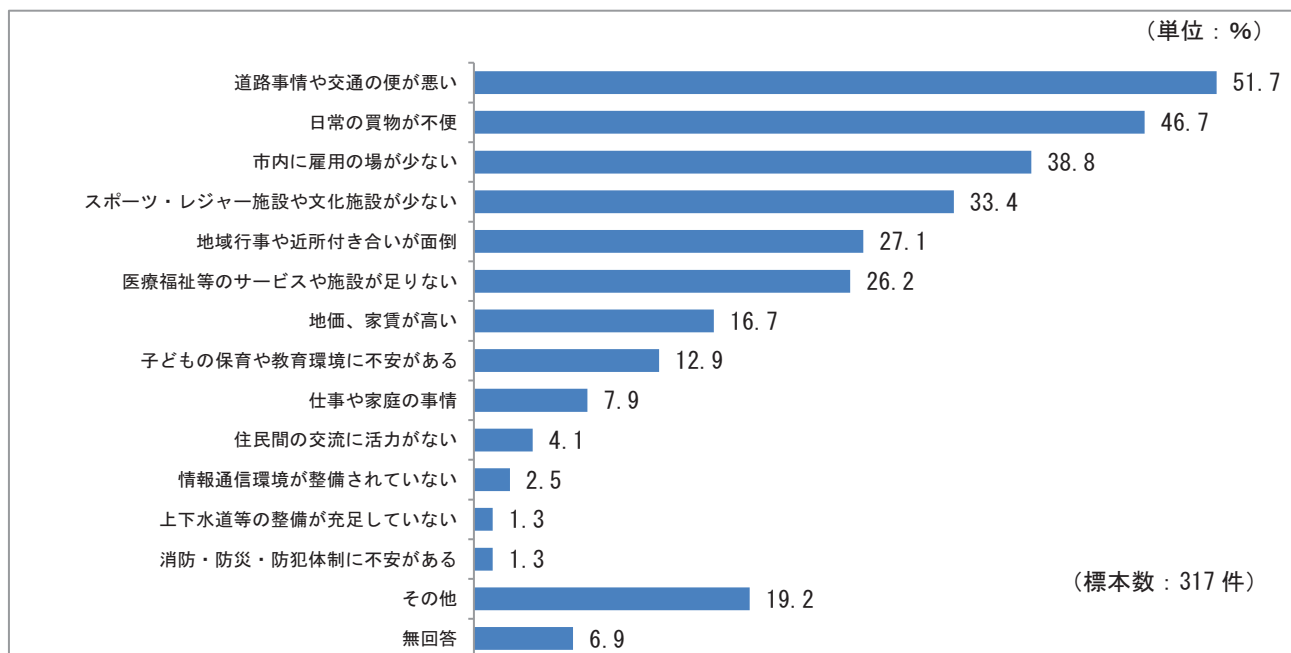
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (H26)	
				順位	回答率 (%)
1	道路事情や交通の便が悪い	164	51.7	1	45.8
2	日常の買物が不便	148	46.7	2	38.6
3	市内に雇用の場が少ない	123	38.8	3	37.8
4	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	106	33.4	4	23.3
5	地域行事や近所付き合いが面倒	86	27.1	7	17.8
6	医療福祉等のサービスや施設が足りない	83	26.2	5	21.9
7	地価、家賃が高い	53	16.7	6	18.6
8	子どもの保育や教育環境に不安がある	41	12.9	8	7.4
9	仕事や家庭の事情	25	7.9	9	6.8
10	住民間の交流に活力がない	13	4.1	11	4.1
11	情報通信環境が整備されていない	8	2.5	10	5.2
12	上下水道等の整備が充足していない	4	1.3	13	1.9
12	消防・防災・防犯体制に不安がある	4	1.3	12	2.2
	その他	61	19.2		15.1
	無回答	22	6.9		1.1
計		941			

(標本数：317 件)

(標本数：365 件)

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が不便」、「賃金水準が低い」、「物価が高い」 など



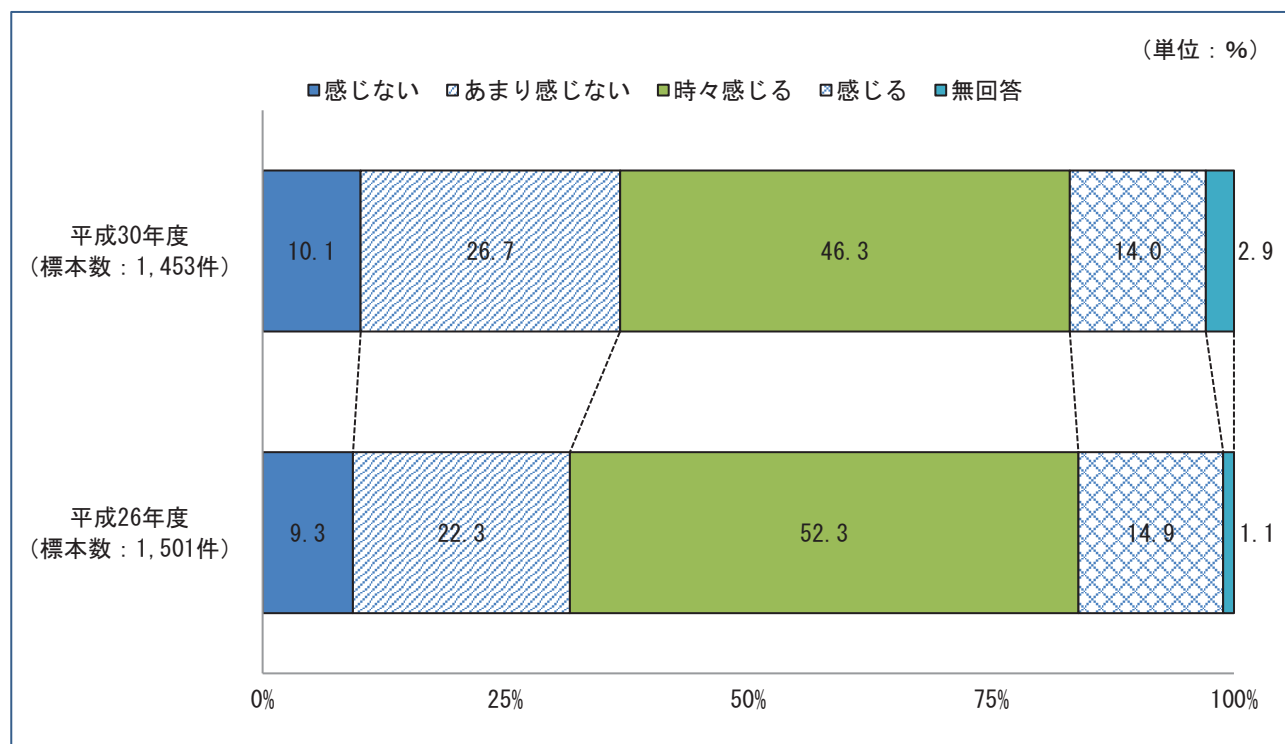
4 日常生活での不安

- ・「時々感じる」の割合が最も高い。
- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせると 60.3%を占め、前回（H26）の調査結果（67.2%）に比べ 6.9 ポイント低下している。

問4 あなたは、日常の暮らしの中で不安を感じることはありますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
感じない	147	10.1
あまり感じない	388	26.7
時々感じる	673	46.3
感じる	203	14.0
無回答	42	2.9
計	1,453	

（標本数：1,453 件）



4-2 不安を感じるところ

- ・上位から「経済的な不安」、「介護に対する不安」、「健康上の不安」の順位は、前回（H26）の調査結果と同じである。
- ・前回（H26）の調査結果に比べ「人口減少に対する不安」の順位・割合が上昇している。「雇用場の少ないことへの不安」の順位・割合が低下している。

問4-2 問4で、「感じる」または「時々感じる」に○をつけた方に伺います。どんなところに不安を感じますか。（3つまで○印）

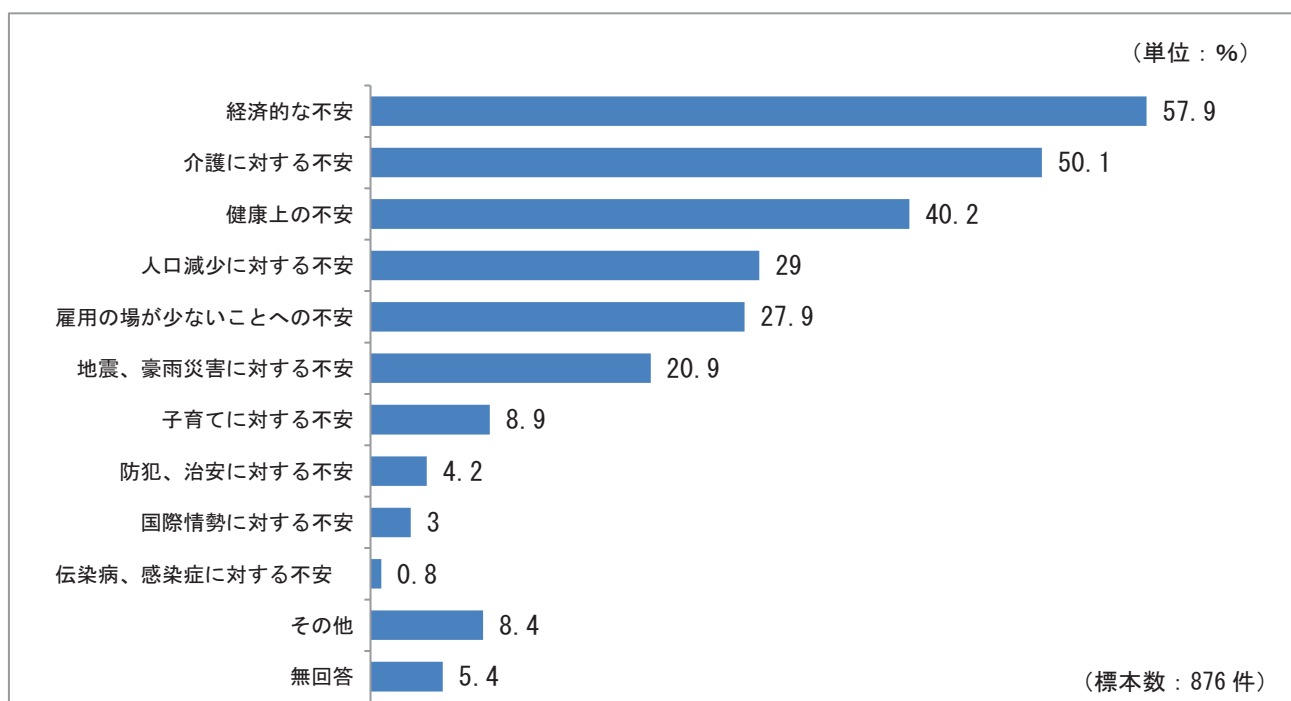
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H26）	
				順位	回答率(%)
1	経済的な不安	507	57.9	1	57.3
2	介護に対する不安	439	50.1	2	50.0
3	健康上の不安	352	40.2	3	37.6
4	人口減少に対する不安	254	29.0	5	25.0
5	雇用場の少ないことへの不安	244	27.9	4	33.4
6	地震、豪雨災害に対する不安	183	20.9	6	21.9
7	子育てに対する不安	78	8.9	7	8.7
8	防犯、治安に対する不安	37	4.2	8	5.0
9	国際情勢に対する不安	26	3.0	9	3.5
10	伝染病、感染症に対する不安	7	0.8	10	0.6
	その他	74	8.4		4.8
	無回答	47	5.4		0.8
計		2,280			

（標本数：876 件）

（標本数：1,009 件）

※「その他」の内容

・「病院・医師不足」、「除雪」、「自分の老後」、「日常における移動手段」 など



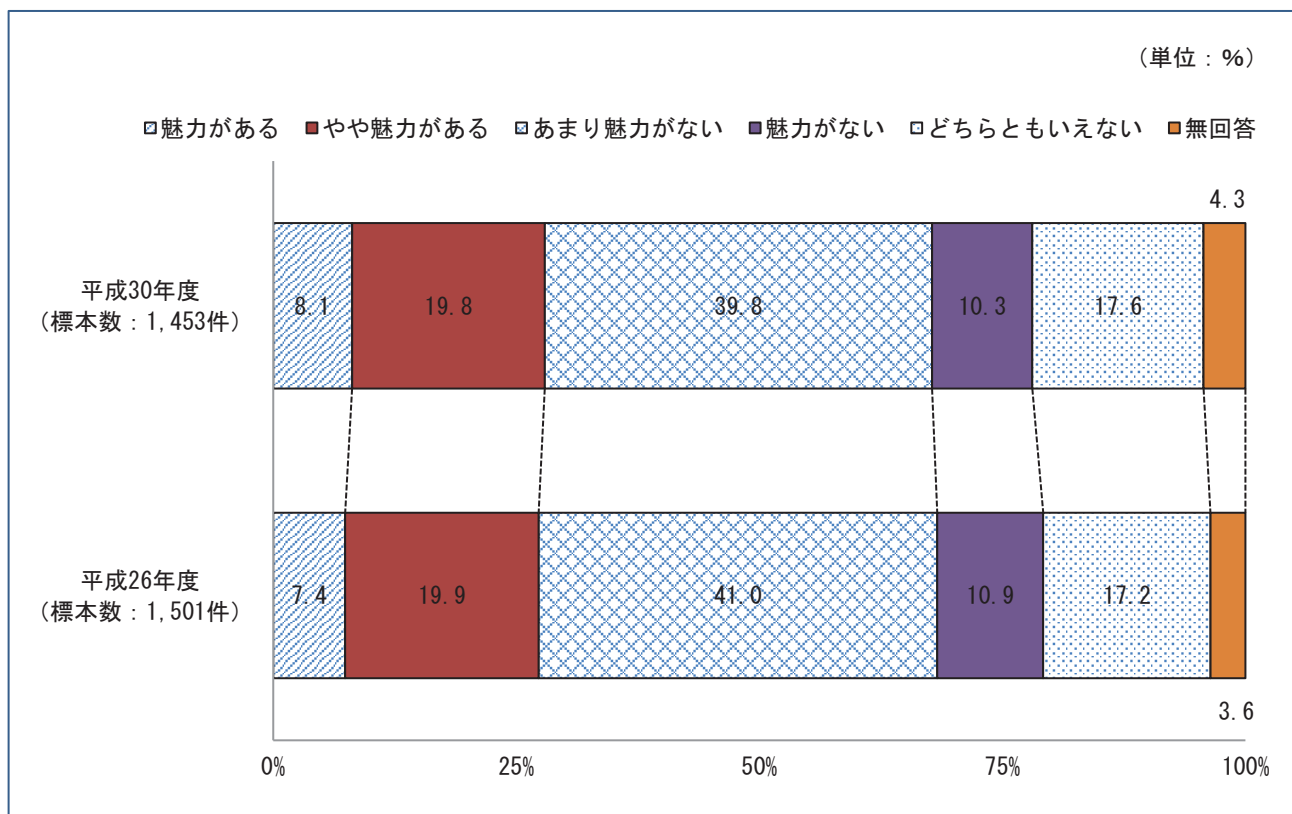
5 働く場としての高山市の魅力

- ・「あまり魅力がない」の割合が最も高い。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせると 50.1%を占め、前回（H26）の調査結果（51.9%）に比べ 1.8 ポイント低下している。

問5 あなたは、働く場としての高山市に魅力を感じますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
魅力がある	118	8.1
やや魅力がある	288	19.8
あまり魅力がない	578	39.8
魅力がない	150	10.3
どちらともいえない	256	17.6
無回答	63	4.3
計	1,453	

（標本数：1,453 件）



5-2 働く場としての魅力がない理由

- ・上位から「給与水準が低い」、「雇用の場が少ない」、「職種が少ない」の順位は、前回（H26）の調査結果と同じである。そのうち「給与水準が低い」の割合が大きく上昇している。「雇用の場が少ない」の割合が大きく低下している。

問5-2 問5で、「魅力がない」または「あまり魅力がない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。（2つまで○印）

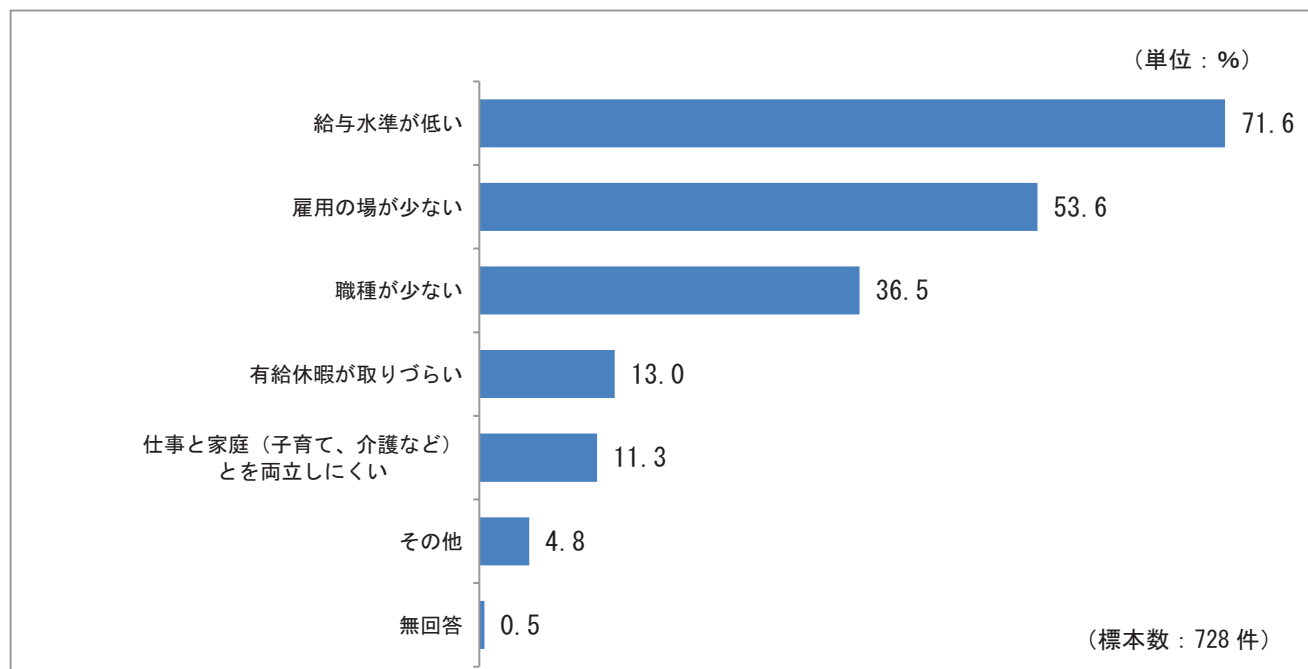
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (H26)	
				順位	回答率 (%)
1	給与水準が低い	521	71.6	1	62.6
2	雇用の場が少ない	390	53.6	2	60.7
3	職種が少ない	266	36.5	3	36.6
4	有給休暇が取りづらい	95	13.0	5	9.8
5	仕事と家庭（子育て、介護など）とを両立しにく	82	11.3	4	13.5
	その他	35	4.8		2.3
	無回答	4	0.5		0.5
計		1,393			

（標本数：728件）

（標本数：779件）

※「その他」内容

- ・「労働環境が悪い（有給休暇がとれない、パワハラ、ブラック企業等）」、「若者の働く場が少ない」 など



■ 高山市の市政運営について

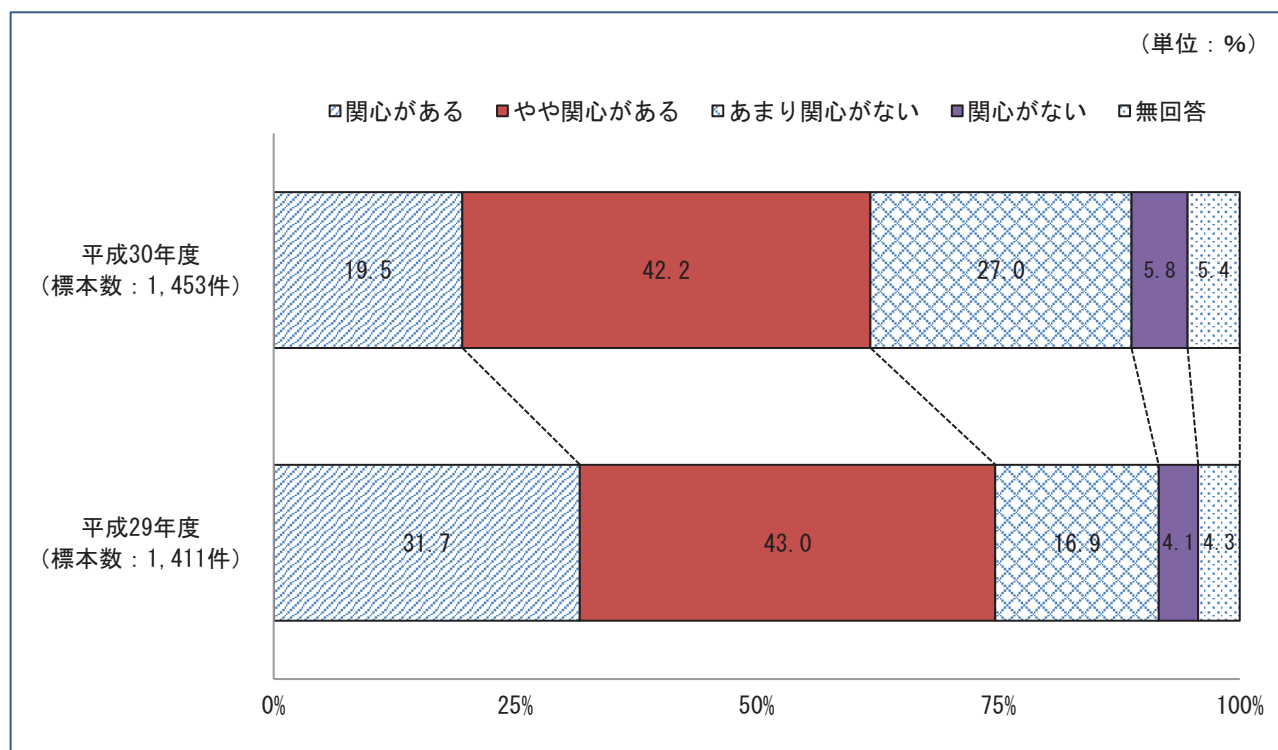
1 市政運営への関心

・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 61.7%を占めている。現総合計画の当初調査（H26）の 62.6%から昨年までは上昇傾向だったが、今回は前年比 13.0 ポイントの低下となっている。

問6 あなたは、高山市の市政運営に関心をお持ちですか。（1 つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
関心がある	283	19.5
やや関心がある	613	42.2
あまり関心がない	393	27.0
関心がない	85	5.8
無回答	79	5.4
計	1,453	

（標本数：1,453 件）



2 今後の重要課題

- ・「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・次いで、「医療・福祉サービスの確保」の割合が高い。
- ・現総合計画の当初調査（H26）からの変化を見ると、上記2つとも同じ順位であり、その他の項目についても上位は大きな変動がない。

問7 あなたは、今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。（3つまで○印）

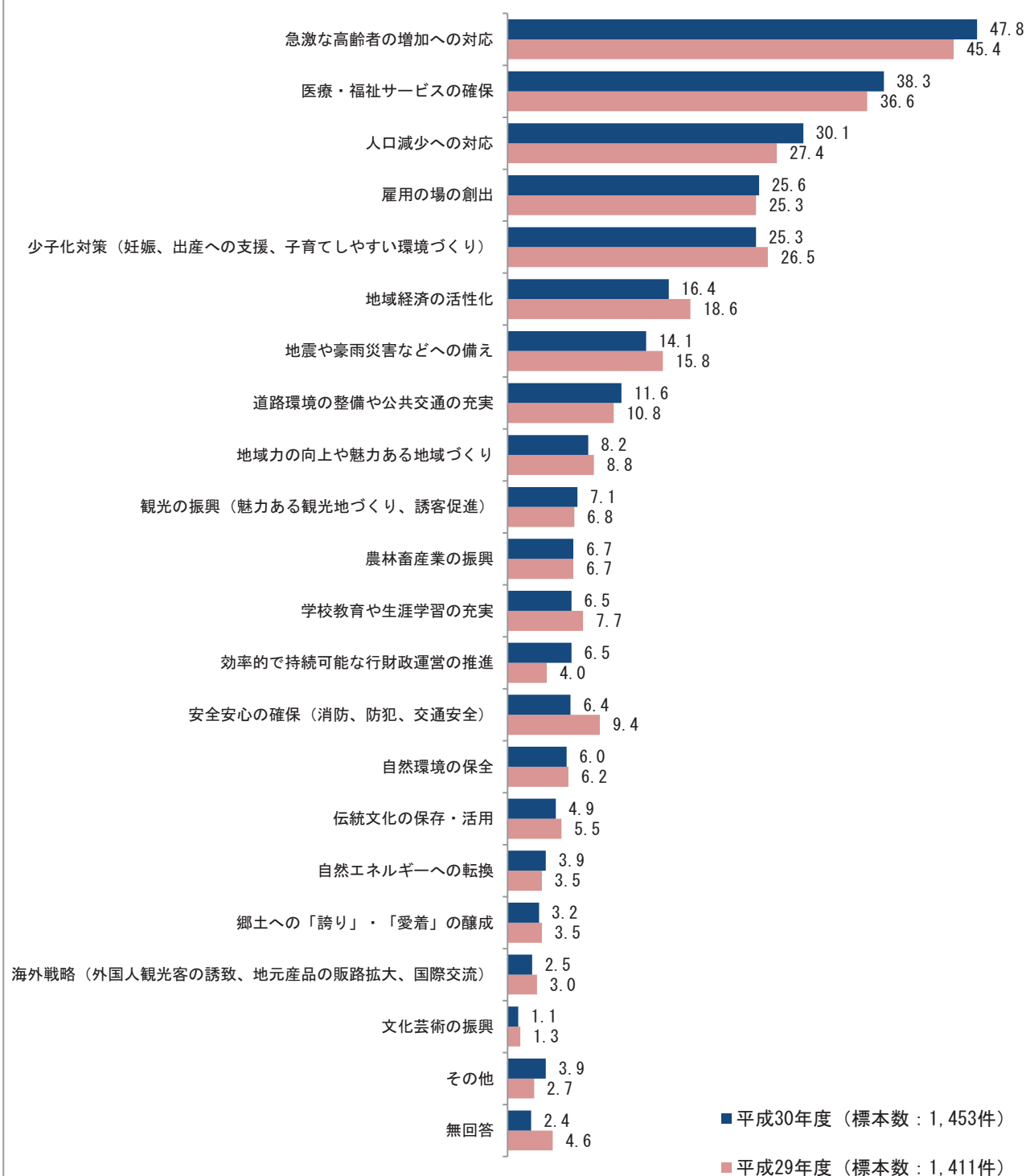
	回答数 (件)	回答率 (%)
急激な高齢者の増加への対応	694	47.8
医療・福祉サービスの確保	556	38.3
人口減少への対応	437	30.1
雇用の場の創出	372	25.6
少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	367	25.3
地域経済の活性化	239	16.4
地震や豪雨災害などへの備え	205	14.1
道路環境の整備や公共交通の充実	168	11.6
地域力の向上や魅力ある地域づくり	119	8.2
観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	103	7.1
農林畜産業の振興	98	6.7
学校教育や生涯学習の充実	94	6.5
効率的で持続可能な行財政運営の推進	94	6.5
安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	93	6.4
自然環境の保全	87	6.0
伝統文化の保存・活用	71	4.9
自然エネルギーへの転換	56	3.9
郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	46	3.2
海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	37	2.5
文化芸術の振興	16	1.1
その他	57	3.9
無回答	35	2.4
計	4,044	

（標本数：1,453件）

※「その他」の内容

- ・市民が楽しめる場所の創出、除雪対策、若者対策（流出抑制、魅力あるまちづくり等）、火葬場の早期建設 など

(単位：%)



3 高山市の取り組みに対する満足度

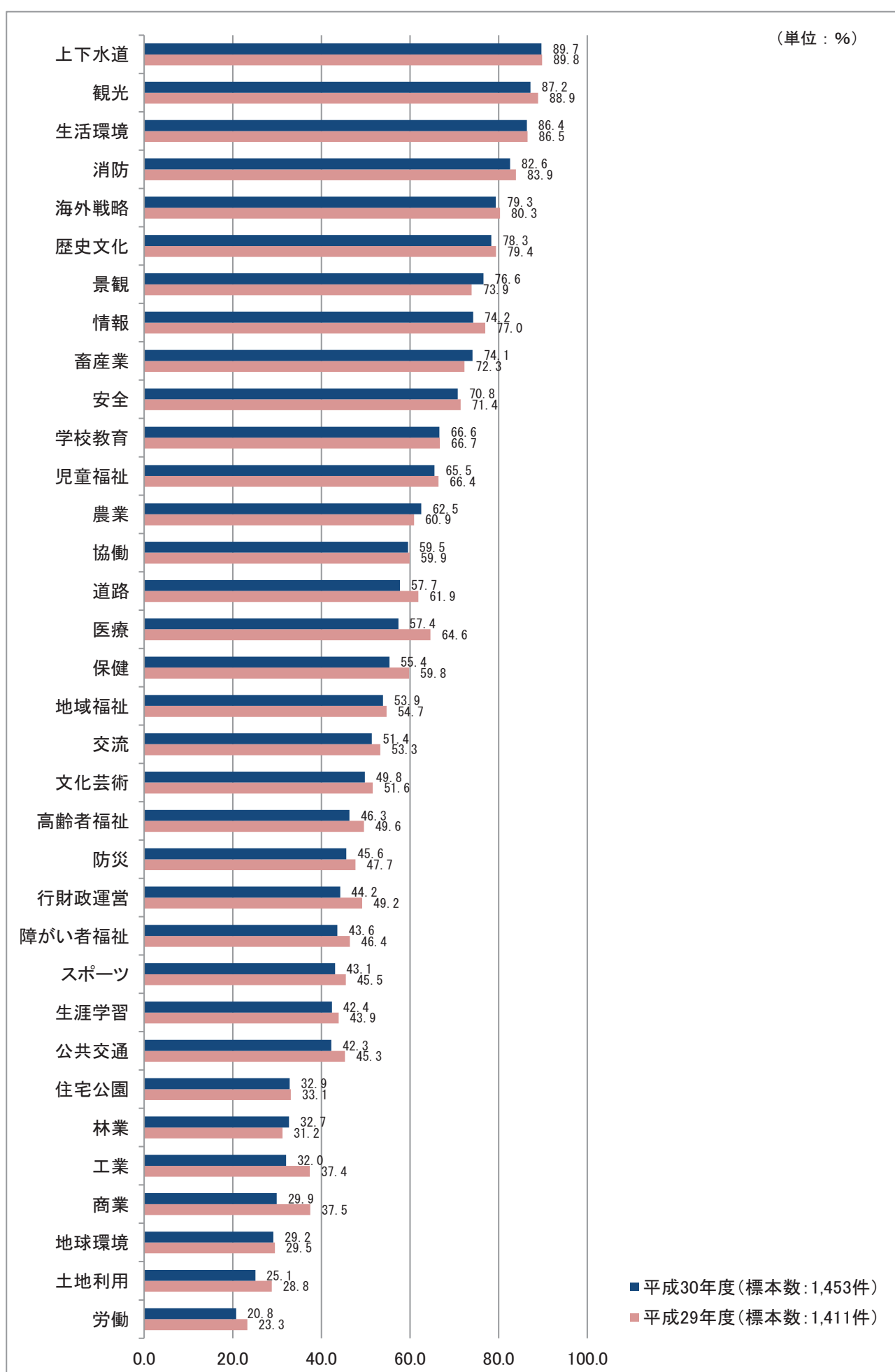
- ・ 満足度の高い分野は、高い順に「上下水道」分野（89.7%）、「観光」分野（87.2%）、「生活環境」分野（86.4%）となっている。
- ・ 上位3分野について、現総合計画の当初調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
「上下水道」：当初調査の2位以降は1位で順位が高い状態を維持
「観光」：当初調査の6位から順位が上昇
「生活環境」：当初調査の1位から順位が低下
- ・ 満足度の低い分野は、低い順に「労働」分野（20.8%）、「土地利用」分野（25.1%）、「地球環境」分野（29.2%）となっている。
- ・ 下位3分野について、現総合計画の当初調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
「労働」：当初調査から今回までの全調査で最も順位が低い
「土地利用」：当初調査の32位以降は33位で、2番目に順位が低い
「地球環境」：当初調査の29位から順位が低下

問8 あなたは、現在の高山市の行政サービスやまちづくりに関して、どのように感じていますか。
それぞれの分野の設問ごとにあなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。（それぞれの設問ごとに1つに○印）

（満足度の算出方法）

$$\text{満足度} = \frac{\text{「感じている」、「やや感じている」の合計}}{\text{「感じている」、「やや感じている」、「あまり感じない」、「感じていない」の合計}}$$

順位	分野		満足度 (%)	前回調査 (H29)	
				順位	満足度 (%)
1	上下水道	安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている	89.7	1	89.8
2	観光	観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している	87.2	2	88.9
3	生活環境	ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている	86.4	3	86.5
4	消防	消防・救急救助体制が整っている	82.6	4	83.9
5	海外戦略	外国人で市内がにぎわい、海外との人や物の交流が進んでいる	79.3	5	80.3
6	歴史文化	文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている	78.3	6	79.4
7	景観	町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている	76.6	8	73.9
8	情報	テレビ、ラジオ、インターネットなどを快適に視聴・利用できる環境が整っている	74.2	7	77.0
9	畜産業	地元の畜産物が広く消費され、畜産業が活性化している	74.1	9	72.3
10	安全	犯罪や交通事故などが少なく、安全に暮らせる環境が整っている	70.8	10	71.4
11	学校教育	学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている	66.6	11	66.7
12	児童福祉	子どもが健やかに育つ環境が整っている	65.5	12	66.4
13	農業	地元の農産物が広く消費され、農業が活性化している	62.5	15	60.9
14	協働	市民、地域、行政が協働してまちづくりに取り組んでいる	59.5	16	59.9
15	道路	安全で快適に移動できる道路環境が整っている	57.7	14	61.9
16	医療	安心して医療を受けられる環境が整っている	57.4	13	64.6
17	保健	主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている	55.4	17	59.8
18	地域福祉	地域で支え合い、安心して暮らせる環境が整っている	53.9	18	54.7
19	交流	国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる	51.4	19	53.3
20	文化芸術	文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている	49.8	20	51.6
21	高齢者福	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境が整っている	46.3	21	49.6
22	防災	災害から命・財産を守るための準備や体制が整っている	45.6	23	47.7
23	行財政運	効率的で良質な行政サービスが提供されている	44.2	22	49.2
24	障がい者	障がい者が必要な支援を受け、自立して暮らせる環境が整っている	43.6	24	46.4
25	スポーツ	スポーツをしたり、楽しんだりできる環境が整っている	43.1	25	45.5
26	生涯学習	生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている	42.4	27	43.9
27	公共交通	日常的に利用できる公共交通体系が整っている	42.3	26	45.3
28	住宅公園	身近に憩える公園があり、快適な住宅環境が整っている	32.9	30	33.1
29	林業	地元の木材が広く利用され、林業・木材産業が活性化している	32.7	31	31.2
30	工業	個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している	32.0	29	37.4
31	商業	個性・魅力ある商店経営が行われ、商業が活性化している	29.9	28	37.5
32	地球環境	自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ、地球環境を守る取り組みが進んでいる	29.2	32	29.5
33	土地利用	保全と開発とのバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている	25.1	33	28.8
34	労働	若者、女性をはじめ、働く意欲のある人の就労の場が確保されている	20.8	34	23.3



■ 協働のまちづくりについて

1 まちづくり協議会の認知度

- ・「名前は知っている」の割合が最も高く、前回（H27）の調査結果に比べ1.4ポイント上昇している。
- ・次いで、「よく知っている」の割合が高く、前回（H27）の調査結果に比べ6.6ポイント上昇している。

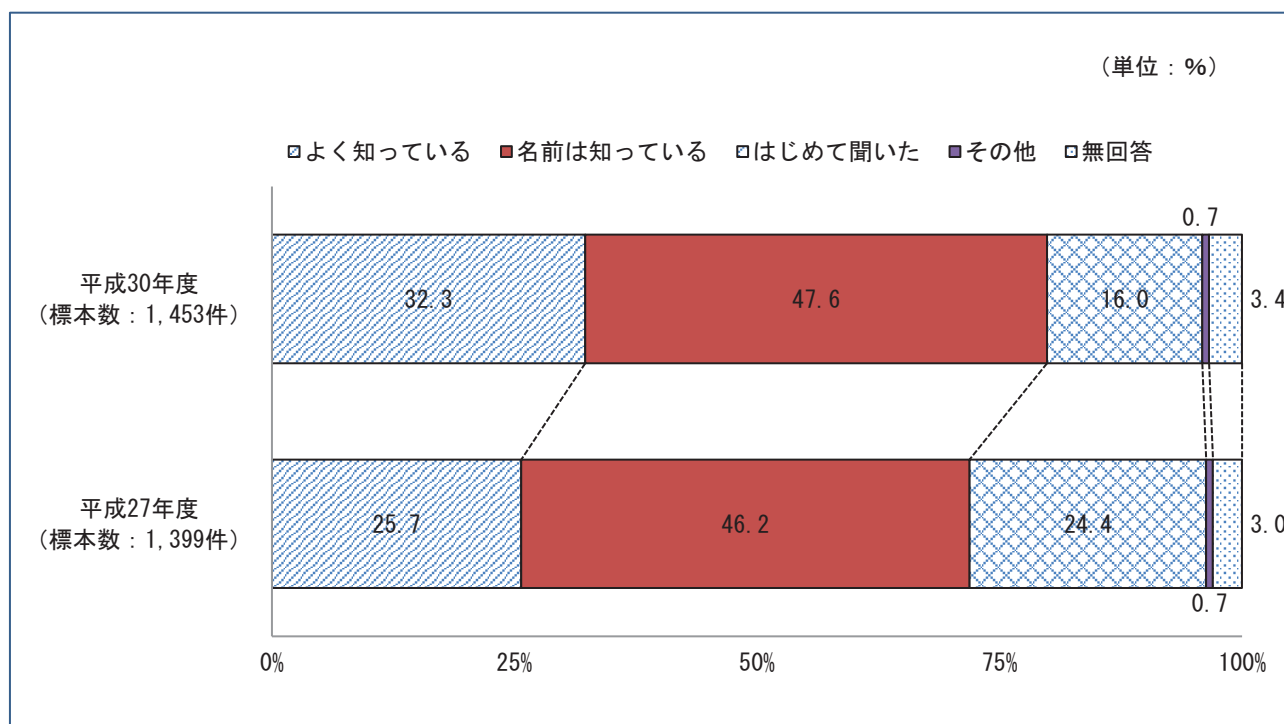
問9 あなたは、お住まいの地域のまちづくり協議会（まち協）について知っていますか。
（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
まちづくり協議会(まち協)をよく知っている	469	32.3
名前は知っているが、何をする組織かわからない	692	47.6
まちづくり協議会(まち協)という名前をはじめて聞いた	233	16.0
その他	10	0.7
無回答	49	3.4
計	1,453	

（標本数：1,453 件）

※「その他」の内容

- ・「なんとなく知っている」など



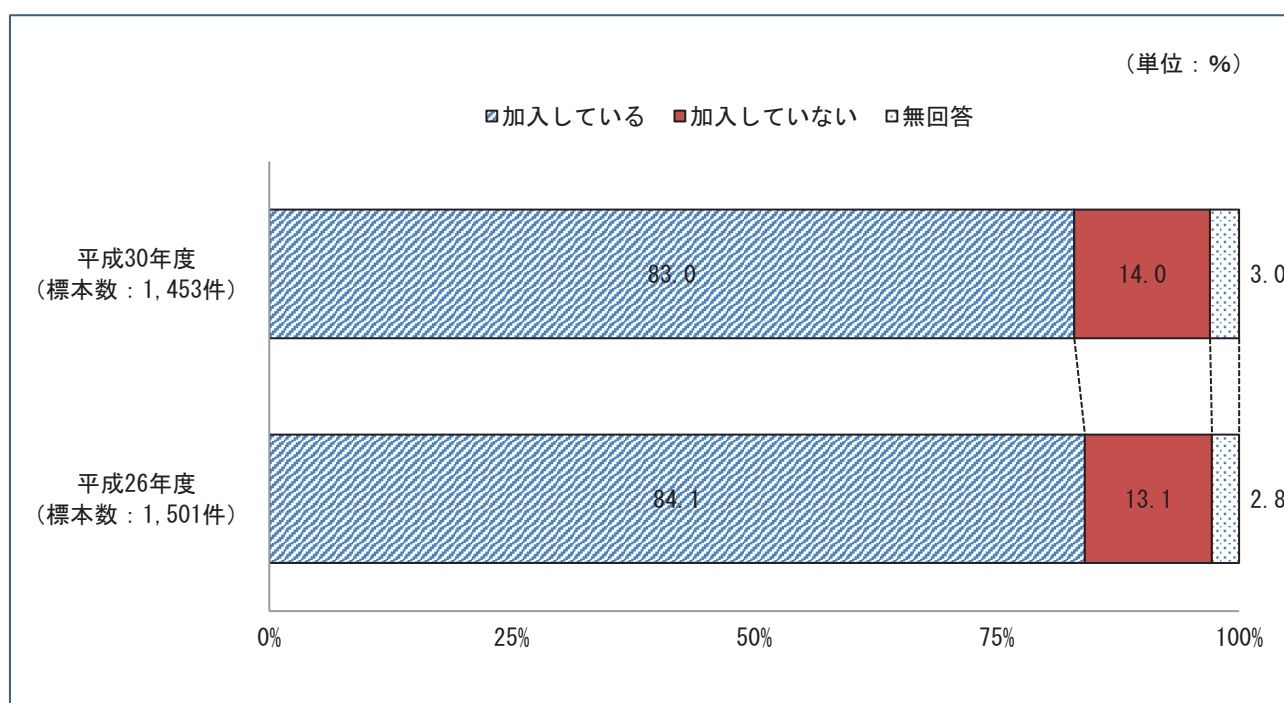
2 町内会への加入状況

- ・「加入している」の割合が高いが、前回（H26）の調査結果（84.1％）に比べ1.1ポイント低下している。

問10 あなたは、町内会（自治会）に加入していますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
加入している	1,206	83.0
加入していない	203	14.0
無回答	44	3.0
計	1,453	

（標本数：1,453件）



2-2 町内会に加入しない理由

- ・「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が、前回（H26）の調査結果と同様で最も高い。
- ・前回（H26）の調査結果に比べ「役職などが回ってくるのが負担」の順位・割合が上昇している。

問10-2 問10で、「加入していない」に○をつけた方に伺います。 その理由はなんですか。
（3つまで○印）

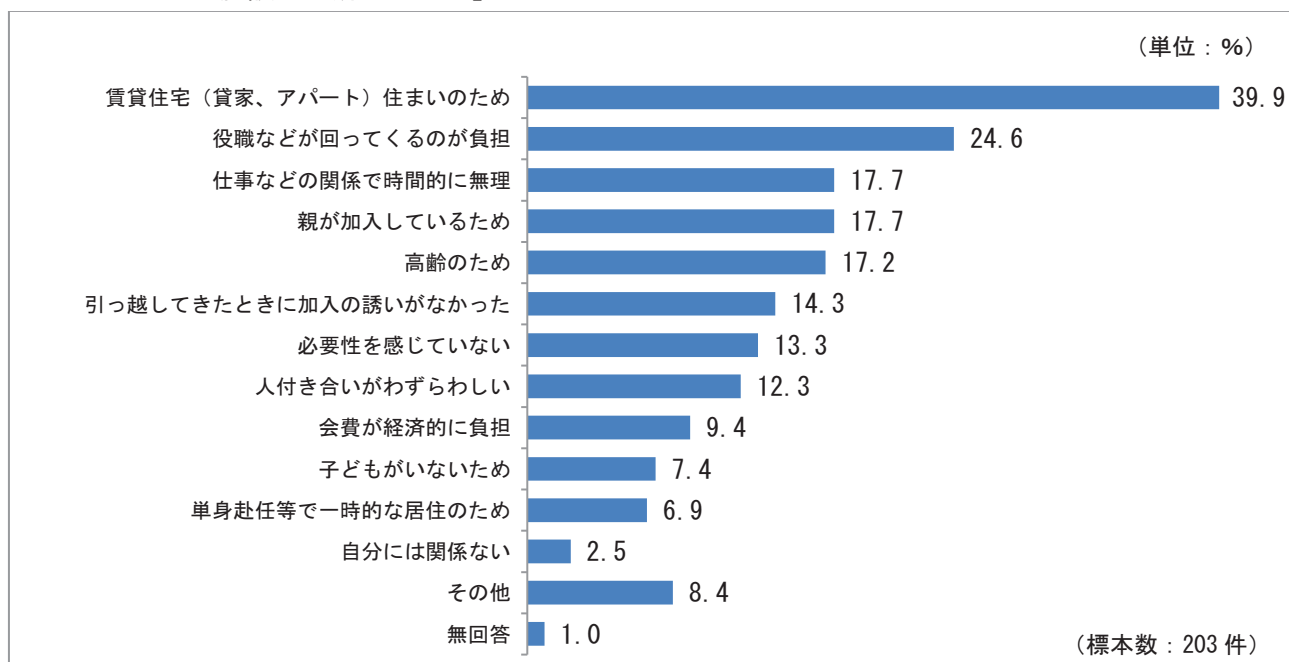
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H26）	
				順位	回答率(%)
1	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	81	39.9	1	41.6
2	役職などが回ってくるのが負担	50	24.6	4	17.8
3	仕事などの関係で時間的に無理	36	17.7	3	18.3
3	親が加入しているため	36	17.7	2	20.8
5	高齢のため	35	17.2	5	17.3
6	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	29	14.3	7	14.2
7	必要性を感じていない	27	13.3	6	15.2
8	人付き合いがわずらわしい	25	12.3	7	14.2
9	会費が経済的に負担	19	9.4	9	11.2
10	子どもがいないため	15	7.4	10	9.1
11	単身赴任等で一時的な居住のため	14	6.9	12	3.6
12	自分には関係ない	5	2.5	11	5.1
	その他	17	8.4		2.5
	無回答	2	1.0		3.6
計		391			

（標本数：203件）

（標本数：197件）

※「その他」の内容

- ・「老人施設に入所している」など



3 まちづくり活動に参加しやすいための条件

・前回（H26）の調査結果に比べ「友人など身近な人と一緒に参加できる」の順位・割合が低下している。「活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている」の順位・割合が上昇している。

問１１ あなたは、地域活動や市民活動など、まちづくりの活動に参加する場合、どのような条件があれば参加しやすいですか。（３つまで○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H26）	
				順位	回答率(%)
1	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	689	47.4	2	48.5
2	友人など身近な人と一緒に参加できる	595	40.9	1	49.3
3	簡単に参加できる	592	40.7	3	42.5
4	趣味や特技を活かせる	330	22.7	4	21.1
5	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	237	16.3	8	11.2
6	活動先や団体についての情報が得られる	181	12.5	5	14.3
7	職場の理解が得られる	177	12.2	7	12.3
8	家族の理解が得られる	165	11.4	6	13.2
9	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	153	10.5	9	7.9
10	交通費など実費が支払われる	111	7.6	10	6.9
11	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	86	5.9	11	5.8
	その他	43	3.0		1.7
	無回答	87	6.0		6.9
計		3,446			

（標本数：1,453 件）

（標本数：1,501 件）

※「その他」の内容

・「高齢、障がい、病気でなければ」、「活動場所が家から近い」 など



4 重点的に協働で取り組むべき分野

- ・上位から「福祉・健康・医療」、「教育」、「環境」の順位は、前回（H26）の調査結果と同じである。そのうち「福祉・健康・医療」の割合が大きく低下している。
- ・前回（H26）の調査結果に比べ「文化」、「地域交流」の順位・割合が上昇している。「地域経済」、「エネルギー」の順位・割合が低下している。

問12 あなたは、どのような分野を重点的にまちづくり協議会や市民活動団体、行政が協働で取り組むべきだとお考えですか。（3つまで○印）

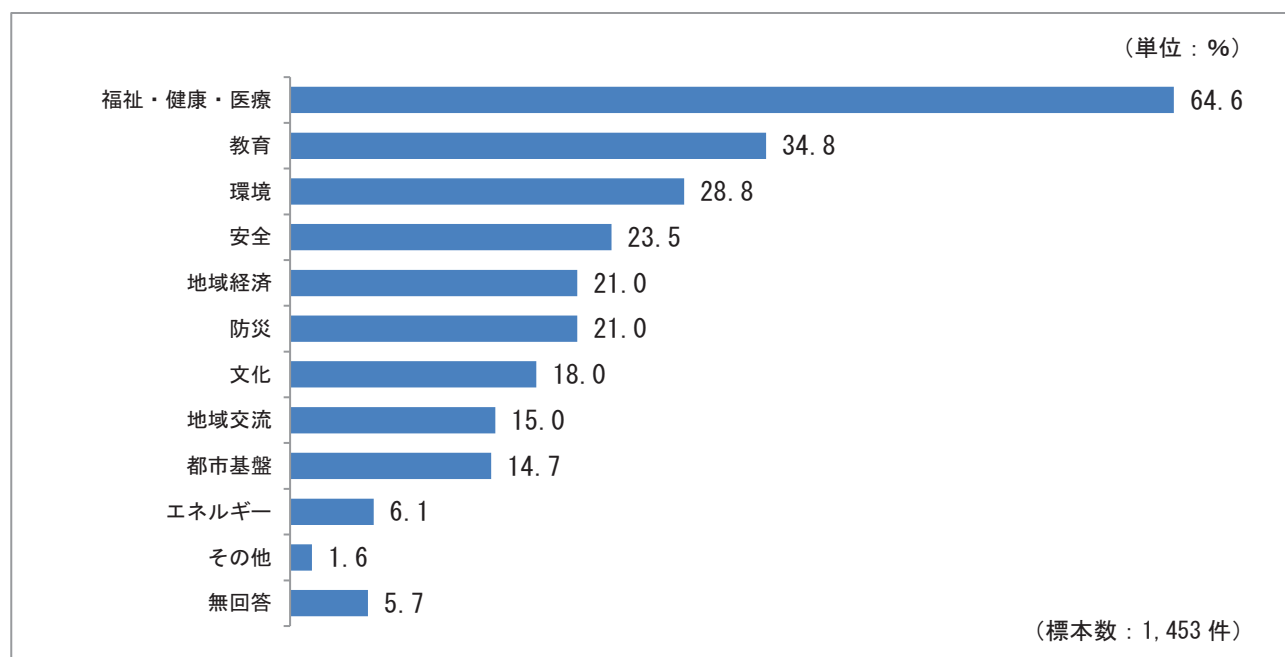
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H26）	
				順位	回答率(%)
1	福祉・健康・医療（介護、子育て、健康づくりなど）	939	64.6	1	71.2
2	教育（学校教育、生涯学習、スポーツ、青少年の健全育成など）	505	34.8	2	33.4
3	環境（道路・河川の美化、自然環境の保全、ごみの資源化など）	418	28.8	3	30.2
4	安全（防犯、交通安全など）	342	23.5	5	20.7
5	地域経済（商店街の活性化、特産品の開発など）	305	21.0	4	26.6
5	防災（災害予防、被災者支援など）	305	21.0	6	20.5
7	文化（文化芸術、伝統・祭りの保存など）	261	18.0	9	13.5
8	地域交流（地域活動、ボランティア、NPO活動など）	218	15.0	10	10.2
9	都市基盤（道路・河川・公園の整備など）	214	14.7	8	13.8
10	エネルギー（省エネ、再生可能エネルギーへの転換など）	89	6.1	7	14.1
	その他	23	1.6		0.6
	無回答	83	5.7		5.7
計		3,702			

（標本数：1,453件）

（標本数：1,501件）

※「その他」内容

・「雇用の場の創出」 など



5 協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの

・前回（H27）の調査結果に比べ「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の順位・割合が上昇している。「若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ」の順位・割合が低下している。

問13 あなたは、まちづくり協議会や市民活動団体、行政が協働でまちづくりをすすめていくうえで、主に何が必要であると考えますか。（3つまで○印）

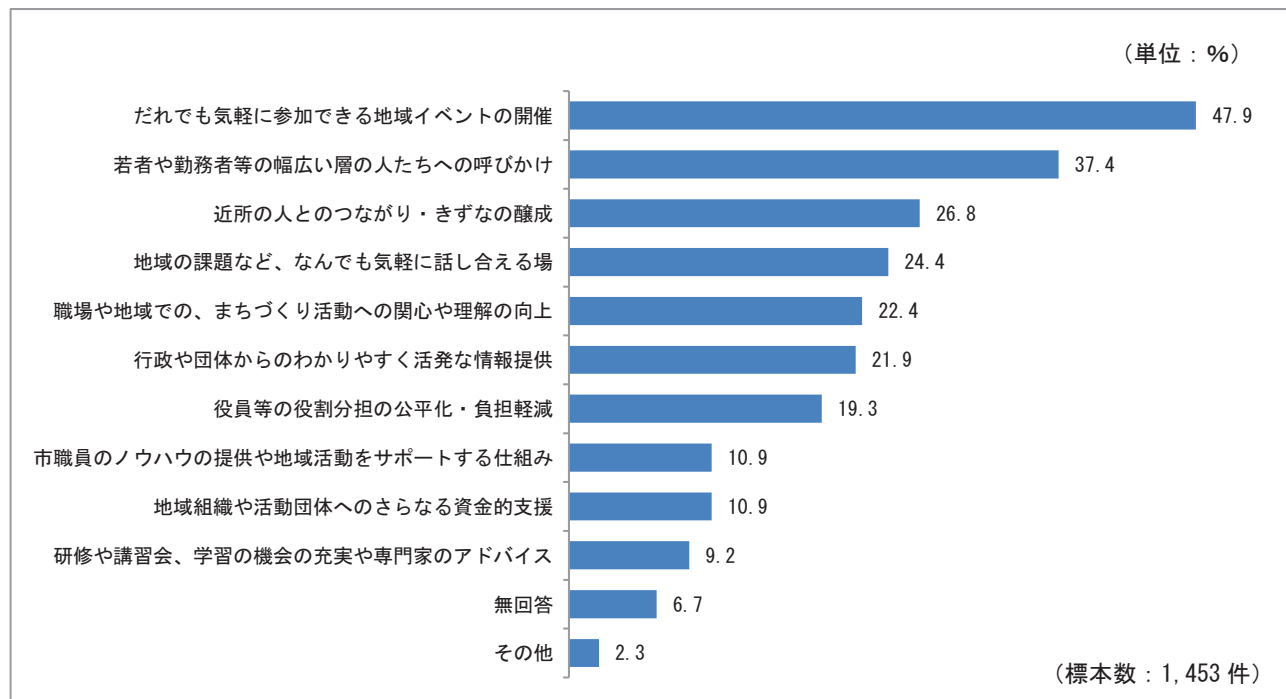
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H27）	
				順位	回答率(%)
1	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	696	47.9	2	41.2
2	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	544	37.4	1	42.7
3	近所の人とのつながり・きずなの醸成	389	26.8	3	29.2
4	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	355	24.4	4	26.2
5	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	326	22.4	5	22.1
6	行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	318	21.9	6	22.0
7	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	281	19.3	7	19.6
8	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	159	10.9	10	9.5
9	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	158	10.9	8	11.6
10	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	134	9.2	9	10.2
	その他	97	6.7		2.7
	無回答	33	2.3		8.2
計		3,490			

（標本数：1,453件）

（標本数：1,399件）

※「その他」の内容

・「活動内容の精査」、「住民の意識改革」 など



まちづくりアンケート（団体）

I 目的

第八次総合計画の見直しにあたり、各種団体における意識の把握・分析を行い、政策検討の視点抽出の基礎資料として活用する。

II 調査期間

平成30年5月30日～6月25日

III 調査項目

■ 団体の活動について

- 1 活動に関し困っていること
- 2 活動を充実する上での支援策
- 3 他の組織との連携
- 4 協働でまちづくりをすすめていくうえで重要な施策

■ 今後、高山市が取り組むべき重要課題について

- 1 今後の重要課題

■ 高山駅西側のまちづくりについて（記載省略）

- 1 駅西地区の利用状況
- 2 駅西地区で利用する施設
- 3 駅西地区の将来的なイメージ
- 4 駅西地区に期待する機能（施設）

■ 将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など（自由意見）（記載省略）

- 1 未来の高山市に望む姿
- 2 団体でできると思われる取り組み
- 3 その他自由記述

IV 調査方法

調査地域	高山市内全地域
実施方法	郵送による配布・回収、記名式
調査対象	市内に事務所を有する団体 312団体 (まちづくり協議会、地区町内会、市民活動登録団体、福祉関係団体など)

V 回収結果

発送数	312団体
回収数	186団体
回収率	59.6%

VI 標本の構成

		回答数 (件)	構成比 (%)
主な活動地域 (複数回答)	高山市全域	67	26.4
	高山地域内	46	18.1
	丹生川地域内	8	3.1
	清見地域内	6	2.4
	荘川地域内	12	4.7
	一之宮地域内	8	3.1
	久々野地域内	8	3.1
	朝日地域内	4	1.6
	高根地域内	5	2.0
	国府地域内	10	3.9
	上宝・奥飛騨温泉郷地域内	12	4.7
	高山市及び周辺	41	16.1
	岐阜県内	16	6.3
	その他（※1）	10	3.9
	無回答	1	0.4
主な活動内容 (複数回答)	町内会活動	33	5.6
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	47	8.0
	社会教育の推進を図る活動	46	7.8
	まちづくりの推進を図る活動	78	13.3
	環境の保全を図る活動	64	10.9
	災害救援活動	32	5.5
	地域安全活動	35	6.0
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	14	2.4
	国際協力の活動	13	2.2
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	8	1.4
	子どもの健全育成を図る活動	79	13.5
	情報化社会の発展を図る活動	11	1.9
	学術・文化・スポーツの振興を図る活動	43	7.3
	科学技術の振興を図る活動	1	0.2
	経済活動の活性化を図る活動	34	5.8
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	15	2.6
	消費者の保護を図る活動	6	1.0
	市民活動団体を支援する活動	25	4.3
	その他（※2）	2	0.3
	無回答	1	0.2

		回答数 (件)	構成比 (%)
活動年数	1 年未満	5	2.7
	1 年以上～3 年未満	7	3.8
	3 年以上～5 年未満	29	15.6
	5 年以上～10 年未満	18	9.7
	10 年以上	123	66.1
	不明	2	1.1
	無回答	2	1.1
会員数	10 人未満	26	14.0
	10 人以上～30 人未満	58	31.2
	30 人以上～50 人未満	31	16.7
	50 人以上～100 人未満	18	9.7
	100 人以上	49	26.3
	不明	1	0.5
	無回答	3	1.6

「その他」の内容

※1 「全国」、「県外」 など

※2 「都市農村交流」 など

VII その他

この調査における「回答率」は、次の計算式により算出している。

$$\boxed{\text{回答率} = \text{回答数} / \text{標本数}}$$

回答率は百分率（％）で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100％とならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100％を超える。

■ 団体の活動について

1 活動に関し困っていること

- ・「会員が減少・不足している」の割合が最も高く、約半数の団体が選択している。
- ・前回の調査結果に比べ「会員が減少・不足している」、「市民等に十分活動が認知されていない」、「リーダー・役員が不足している」の順位・割合が上昇している。
- ・前回の調査結果に比べ「活動資金が不足している」、「活動拠点・施設が不足している」の順位・割合が低下している。

問1 貴団体の活動に関し、現在どのようなことに困っていますか。（2つまで○印）

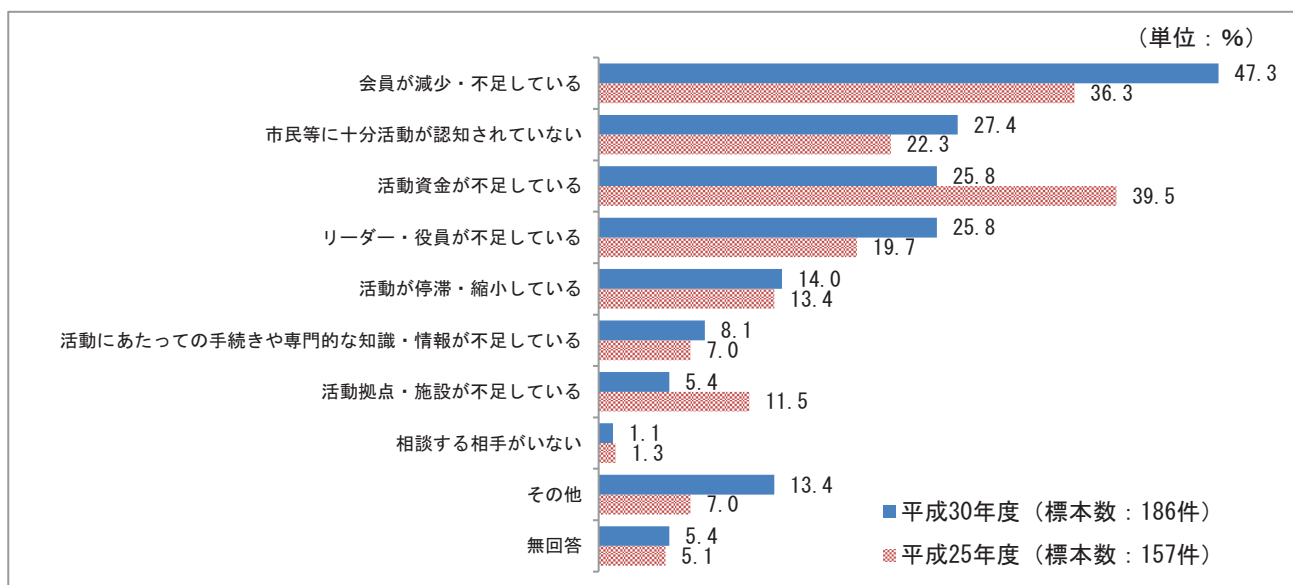
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (H25)	
				順位	回答率 (%)
1	会員が減少・不足している	88	47.3	2	36.3
2	市民等に十分活動が認知されていない	51	27.4	3	22.3
3	活動資金が不足している	48	25.8	1	39.5
3	リーダー・役員が不足している	48	25.8	4	19.7
5	活動が停滞・縮小している	26	14.0	5	13.4
6	活動にあたっての手続きや専門的な知識・情報が不足している	15	8.1	7	7.0
7	活動拠点・施設が不足している	10	5.4	6	11.5
8	相談する相手がいない	2	1.1	8	1.3
	その他	25	13.4		7.0
	無回答	10	5.4		5.1
計		323			

(標本数：186件)

(標本数：157件)

※「その他」の内容

- ・「会員が高齢化してきている」、「行政の協力・連携が不足している」 など



2 活動を充実する上での支援策

- ・上位から「地域に貢献する活動を行う上での経済的支援」、「市民などへの、貴団体の活動内容の広報・PRに関する支援」、「行政や地域への提案など活動の成果が活かされる仕組みづくり」、「活動に役立つ情報提供や学習・研修などの支援」の順となっており、前回（H25）の調査結果と同じである。そのうち「地域に貢献する活動を行う上での経済的支援」の割合が大きく低下している。
- ・前回（H25）の調査結果に比べ「リーダーなどの人材育成や人材バンクなどの人的支援の実施」の順位・割合が上昇している。「活動や会議などに利用できる場所の提供」の順位・割合が低下している。

問2 貴団体の活動を充実する上で、行政にどのような支援を望みますか。（2つまで○印）

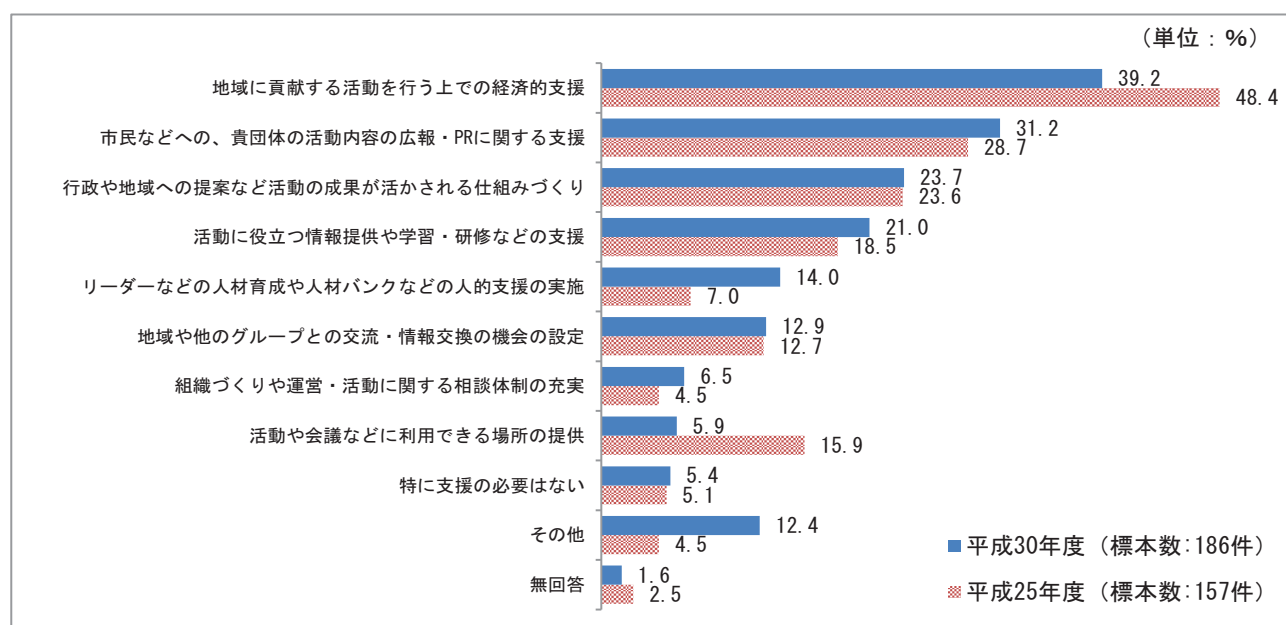
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H25）	
				順位	回答率(%)
1	地域に貢献する活動を行う上での経済的支援	73	39.2	1	48.4
2	市民などへの、貴団体の活動内容の広報・PRに関する支援	58	31.2	2	28.7
3	行政や地域への提案など活動の成果が活かされる仕組みづくり	44	23.7	3	23.6
4	活動に役立つ情報提供や学習・研修などの支援	39	21.0	4	18.5
5	リーダーなどの人材育成や人材バンクなどの人的支援の実施	26	14.0	7	7.0
6	地域や他のグループとの交流・情報交換の機会の設定	24	12.9	6	12.7
7	組織づくりや運営・活動に関する相談体制の充実	12	6.5	9	4.5
8	活動や会議などに利用できる場所の提供	11	5.9	5	15.9
9	特に支援の必要はない	10	5.4	8	5.1
	その他	23	12.4		4.5
	無回答	3	1.6		2.5
計		323			

（標本数：186件）

（標本数：157件）

※「その他」の内容

- ・「行政の協力・連携」、「行政への要望事項の早期実施」 など



3 他の組織との連携

【A】現在の連携の状況

- ・前回（H25）の調査結果と同様で、「よくある」と「たまにある」を合わせた割合は、「行政との連携」が最も高く（77.9%）、「企業との連携」が最も低い（31.2%）。そのうち「企業との連携」の「よくある」の割合が大きく減少している。

【B】今後の連携の必要性

- ・前回（H25）の調査結果と同様で、「必要」の割合は、「行政との連携」が最も高く、「企業との連携」が最も低い。

問3 貴団体は、次の各項目の組織等と連携して活動することが、【A】現在どれくらいありますか。

また、【B】今後連携が必要だとお考えですか。（あてはまる番号にそれぞれ1つに○印）

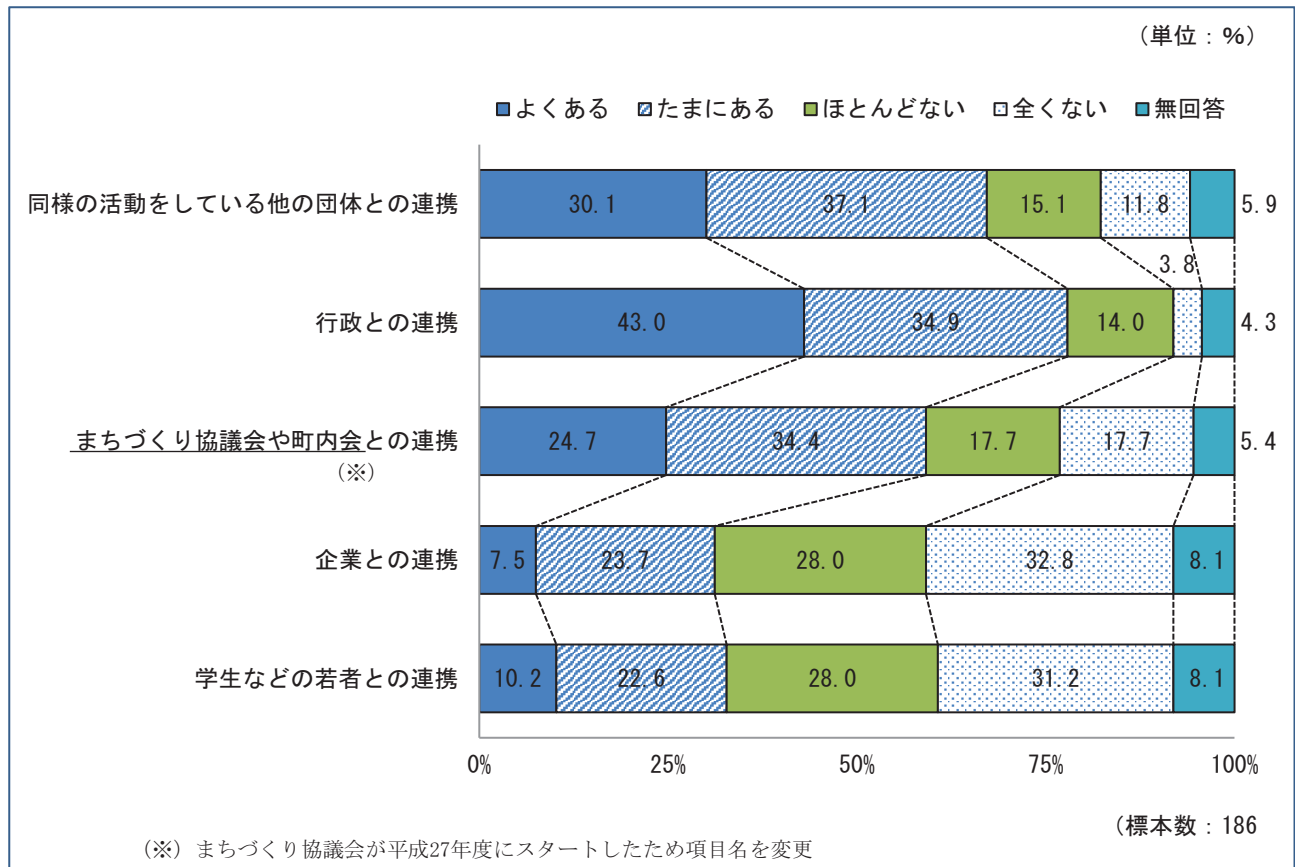
	【A】 現在の連携 の状況	回答数 (件)	回答率 (%)	前回(H25)	【B】 今後の連携 の必要性	回答数 (件)	回答率 (%)	前回(H25)
				回答率(%)				回答率(%)
同様の活動を している他の 団体との連携	よくある	56	30.1	28.7	必要	131	70.4	72.0
	たまにある	69	37.1	41.4	必要でない	4	2.2	4.5
	ほとんどない	28	15.1	18.5	どちらともいえない	34	18.3	16.6
	全くない	22	11.8	8.3	わからない	4	2.2	4.5
	無回答	11	5.9	3.2	無回答	13	7.0	2.5
行政との連携	よくある	80	43.0	43.9	必要	161	86.6	87.9
	たまにある	65	34.9	37.6	必要でない	1	0.5	0.6
	ほとんどない	26	14.0	13.4	どちらともいえない	9	4.8	7.0
	全くない	7	3.8	1.9	わからない	4	2.2	1.9
	無回答	8	4.3	3.2	無回答	11	5.9	2.5
まちづくり協 議会や町内会 との連携	よくある	46	24.7	22.9	必要	138	74.2	65.6
	たまにある	64	34.4	33.1	必要でない	5	2.7	3.8
	ほとんどない	33	17.7	22.9	どちらともいえない	24	12.9	22.3
	全くない	33	17.7	14.0	わからない	8	4.3	3.8
	無回答	10	5.4	7.0	無回答	11	5.9	4.5
企業との連携	よくある	14	7.5	15.3	必要	89	47.8	51.0
	たまにある	44	23.7	12.7	必要でない	11	5.9	7.0
	ほとんどない	52	28.0	29.3	どちらともいえない	59	31.7	30.6
	全くない	61	32.8	35.0	わからない	8	4.3	5.1
	未回答	15	8.1	7.6	無回答	19	10.2	6.4
学生などの若 者との連携	よくある	19	10.2	7.6	必要	115	61.8	57.3
	たまにある	42	22.6	22.3	必要でない	4	2.2	5.1
	ほとんどない	52	28.0	28.7	どちらともいえない	39	21.0	27.4
	全くない	58	31.2	34.4	わからない	12	6.5	4.5
	無回答	15	8.1	7.0	無回答	16	8.6	5.7

（平成30年度 標本数：186件）

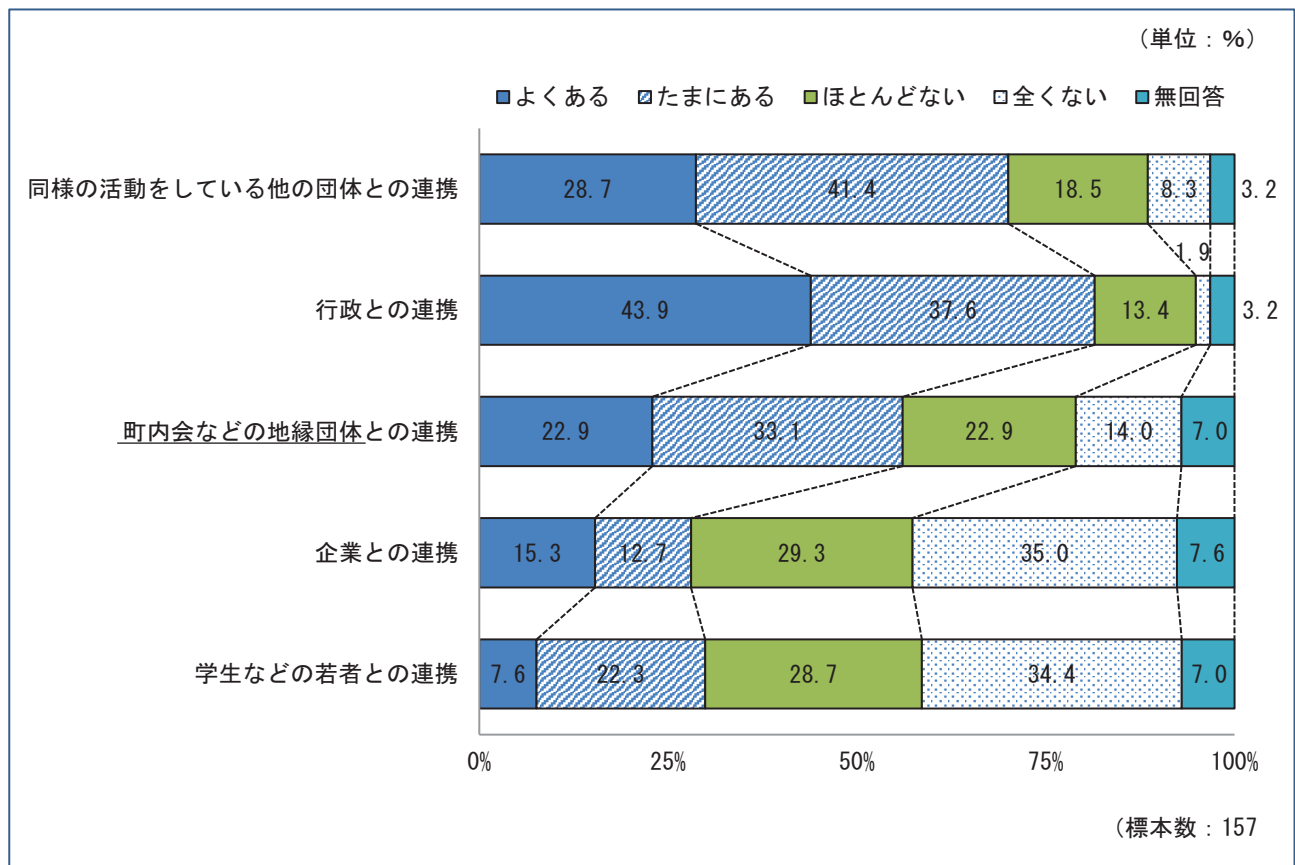
（平成25年度 標本数：157件）

【A】現在の連携の状況

(平成30年度)

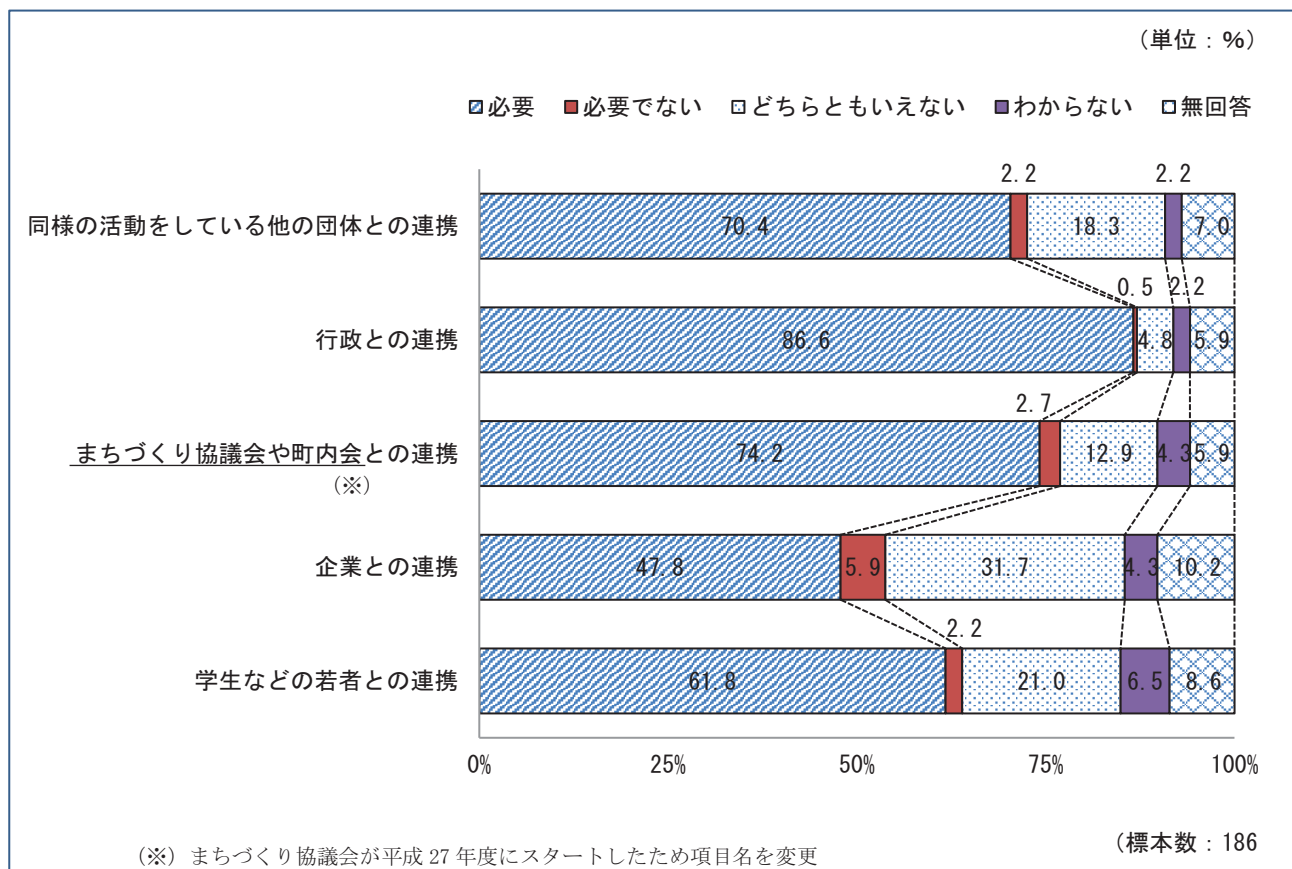


(平成25年度)

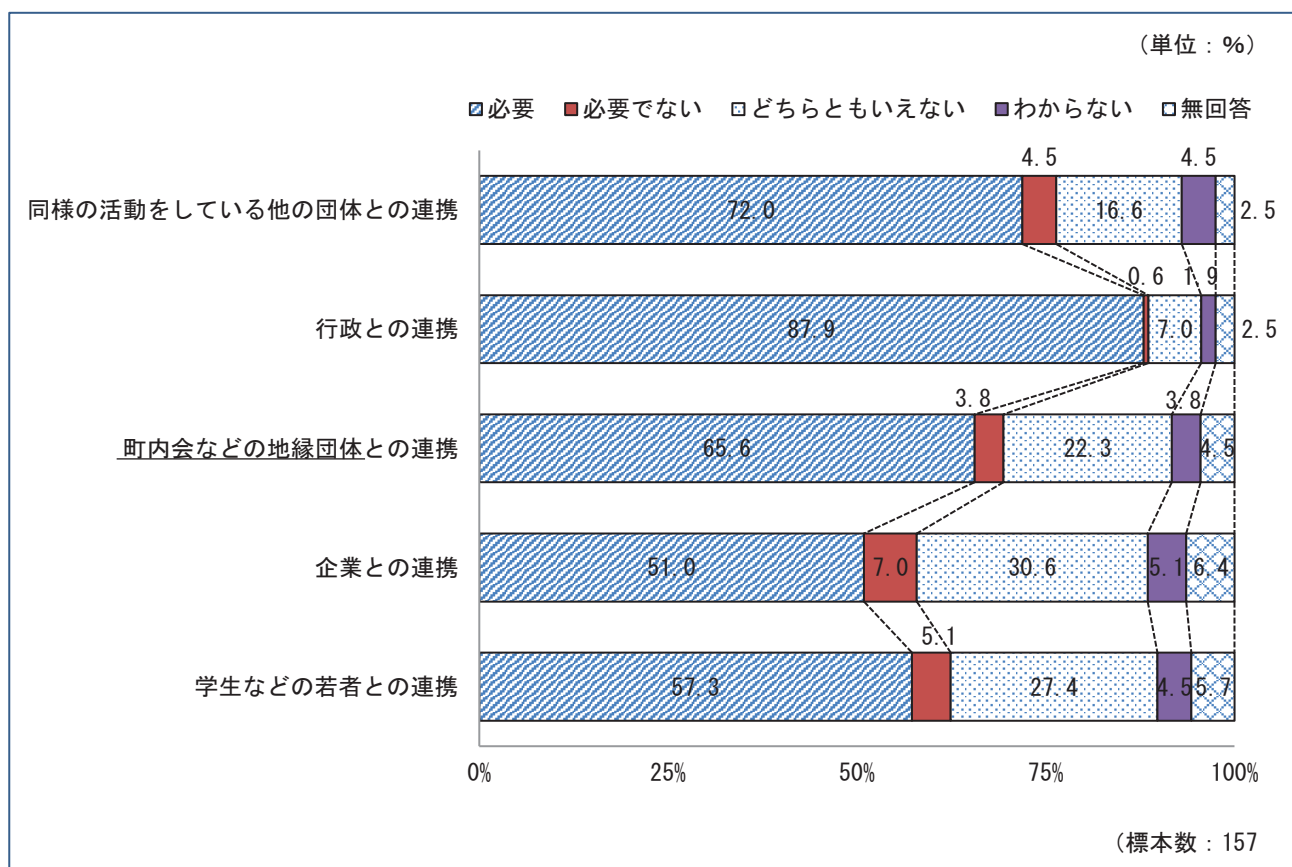


【B】今後の連携の必要性

(平成30年度)



(平成25年度)



4 協働でまちづくりをすすめていくうえで重要な施策

- ・「地域のまちづくりのニーズを把握し、情報を共有する中で施策や事業を展開する」の割合が、前回（H25）の調査結果と同様で最も高い。
- ・前回（H25）の調査結果に比べ「行政だけ、市民だけでは解決できない課題を解決する」の順位・割合、「地域や市民の多様な価値観を活かせるような場を醸成する」の割合が上昇している。「まちづくりへの市民参画を推進する」、「市民が自立して解決できるよう行政の支援を充実する」の順位・割合が低下している。

問4 市民と行政が協働してまちづくりをすすめる上で、何が最も重要とお考えですか。

（2つまで○印）

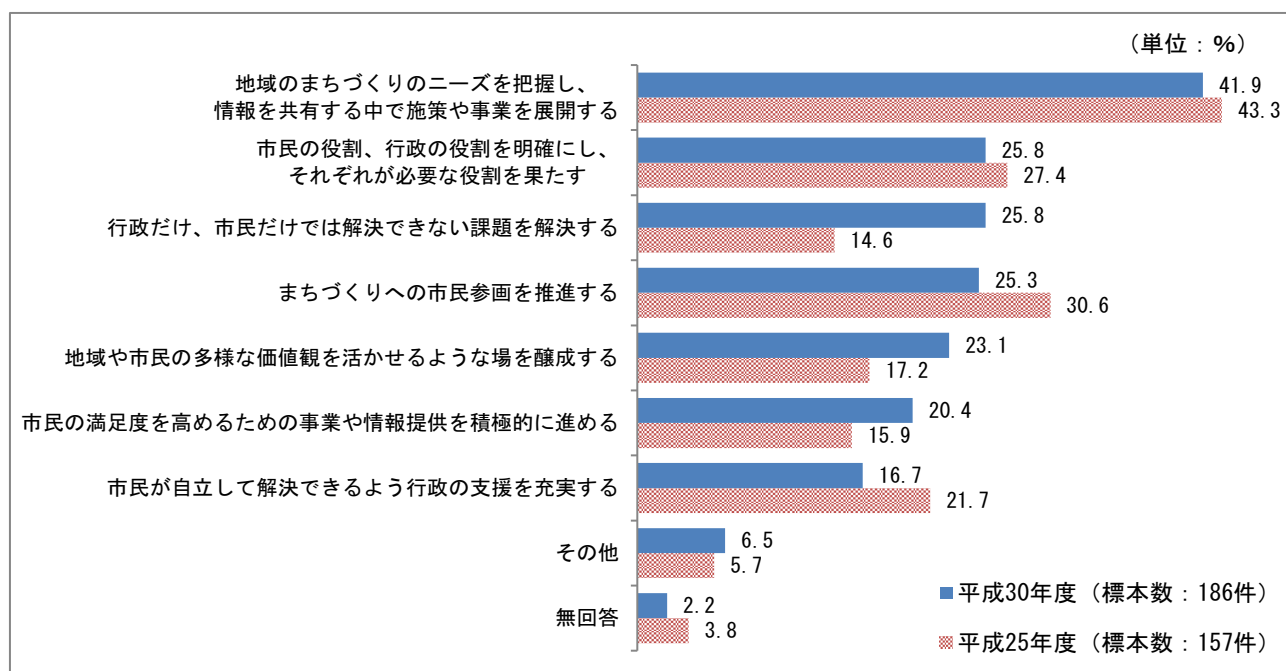
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H25）	
				順位	回答率(%)
1	地域のまちづくりのニーズを把握し、情報を共有する中で施策や事業を展開する	78	41.9	1	43.3
2	市民の役割、行政の役割を明確にし、それぞれが必要な役割を果たす	48	25.8	3	27.4
2	行政だけ、市民だけでは解決できない課題を解決する	48	25.8	7	14.6
4	まちづくりへの市民参画を推進する	47	25.3	2	30.6
5	地域や市民の多様な価値観を活かせるような場を醸成する	43	23.1	5	17.2
6	市民の満足度を高めるための事業や情報提供を積極的に進める	38	20.4	6	15.9
7	市民が自立して解決できるよう行政の支援を充実する	31	16.7	4	21.7
	その他	12	6.5		5.7
	無回答	4	2.2		3.8
計		349			

（標本数：186 件）

（標本数：157 件）

※「その他」の内容

- ・「行政が協働事業に積極的に取り組む」、「市の組織間の情報共有」、「市民が参加できる事業の掘り起こし」 など



■ 今後、高山市が取り組むべき重要課題について

1 今後の重要課題

- ・上位から「人口減少への対応」、「少子化対策」、「急激な高齢者の増加への対応」となっており、順位・割合が、前回（H25）の調査結果に比べ上昇している。
- ・次いで、「地域力の向上や魅力ある地域づくり」、「地域経済の活性化」、「雇用の場の創出」となっているが、順位・割合は、前回（H25）の調査結果に比べ低下している。
- ・前回（H25）の調査結果に比べ「伝統文化の保存・活用」、「観光の振興」の順位・割合が大きく低下している。

問5 今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。（3つまで○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H25）	
				順位	回答率(%)
1	人口減少への対応	66	35.5	4	24.2
2	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	61	32.8	6	20.4
3	急激な高齢者の増加への対応	57	30.6	5	23.6
4	地域力の向上や魅力ある地域づくり	43	23.1	1	31.8
5	地域経済の活性化	42	22.6	2	26.1
6	雇用の場の創出	40	21.5	2	26.1
7	医療・福祉サービスの確保	27	14.5	9	13.4
8	学校教育や生涯学習の充実	24	12.9	11	10.8
9	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	23	12.4	10	11.5
10	自然環境の保全	22	11.8	13	7.6
11	地震や豪雨災害などへの備え	19	10.2	17	5.7
12	伝統文化の保存・活用	16	8.6	8	17.2
13	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	15	8.1	7	17.8
13	農林畜産業の振興	15	8.1	14	7.0
15	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	12	6.5	12	10.2
15	効率的で持続可能な行財政運営の推進	12	6.5	20	3.8
17	再生可能エネルギーへの転換	11	5.9	15	6.4
18	文化芸術の振興	9	4.8	17	5.7
19	道路環境の整備や公共交通の充実	8	4.3	15	6.4
20	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	7	3.8	19	5.1
	その他	18	9.7		4.5
	無回答	3	1.6		1.3
計		550			

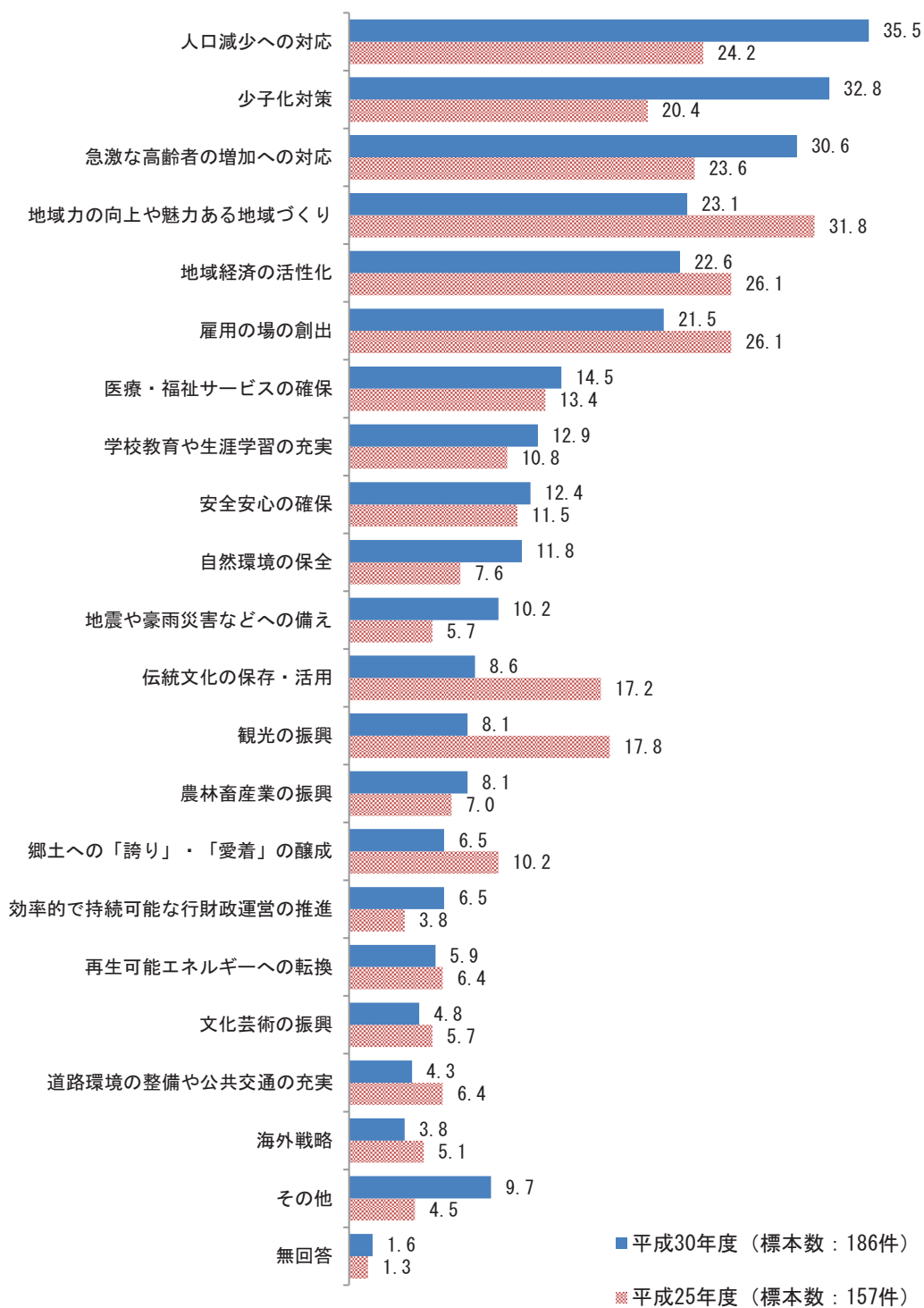
（標本数：186 件）

（標本数：157 件）

※「その他」の内容

- ・「若者が住み続けたいと思えるまちづくり」、「景観保全」 など

(単位：%)



まちづくりに関する意見募集

I 目的

第八次総合計画の見直しにあたり、まちづくりに関する意見等を聴取し、政策検討の視点抽出の基礎資料として活用する。

II 意見募集期間

平成30年6月15日～7月20日

III 意見募集項目

- 1 誇りや愛着を感じる場所
- 2 暮らしにくさや不安を感じる場所
- 3 将来に向けたご意見・ご提案（自由意見）（記載省略）

IV 意見募集方法

募集地域 高山市内全地域

実施方法

- ・広報たかやまに調査票を掲載し、郵送にて回収
- ・市のホームページに調査票を掲載し、メールにて回収
- ・調査票を公共施設（62施設）、スーパー（20施設）に設置し、郵送にて回収
- ・意見交換会で調査票を配付し、郵送等にて回収

募集対象 全市民

VI 意見募集結果

意見数 90件

募集方法	意見数（件）
広報たかやま掲載	61
ホームページ掲載	2
公共施設留置	20
スーパー留置	5
意見交換会配付	2

1 誇りや愛着を感じるところ

問1 あなたは、高山市のどのようなところに誇りや愛着を感じていますか。

観光
・知名度(他県で飛騨高山で通じる)。
・全国的な知名度が高く、東海地方で世界に誇れるまちであるところ。
・地方でありながら、観光では他の観光都市に負けていない。ほかの県の人でも「あー高山ね」と知っていることが多い。
・観光地。岐阜県というより飛騨高山と言った方がわかってもらえる。
・観光都市で内外から注目されている。
・観光客がたくさん訪れ、まちに活気がある。
・飛騨の里も昔のように観光客がたくさん来てほしいです。自然・眺め・その他、私は好きです。
・温泉がいい。四季がはっきりしており、主要観光地に近く、便利と喜ばれる。
・昔からのものを大切にし、観光施設として活用している。
・昭和 40 年代より、ローマ字で案内板があり、トイレが多くきれいである。車もクラクションを鳴らさず止まってくれる。人の生活と観光が一体となっている。
商業
・商店街。
・市内中心地に便利な施設があること。
・店は、昔ながらの八百屋がいいけれど、千差万別の世界。でも、今は自由でいい。
・ファストフード店、新高山駅など、施設が充実してきている。
農業
・食べ物がおいしい。
・水と空気と野菜が良い。
・地元の野菜はすごくおいしいのが自慢です。
・自然と野菜の新鮮なところは捨てがたい(葉物野菜等に農薬がたくさん使われているのは心配)。
・リンゴ・モモ・地の野菜がおいしい。
・JA 飛騨が元気である。
畜産業
・飛騨牛が輸出されるようになるとともに、国内での認知度が高まっている。高山高校の取り組みにも、大きな成果が上がっている。
海外戦略
・観光地として外国人が多いところ。
・ホテル等が多くなり、外国の方が多くなり、市の発展となることと思います。それがいつまで続くのかは不安です。
地球環境
・自然。
・自然豊か。
・自然が豊かです。
・自然の豊かさが数多くある。

・自然が豊かで、子どもたちに日常生活で感じられるところ。
・自然豊かで、水や空気がおいしい。
・四季に富んで、自然環境が良い。
・自然が残っている地域がたくさんあり、四季を肌で、感覚で、楽しめるところ。
・自然の美しさ。
・自然がたくさん。
・身近に自然が多くあるところ。
・比較的自然が多いこと。
・自然が多く、人間も素朴。
・周りの自然の美しさ(はげ山なし)。
・自然環境に恵まれており、古い文化も保たれている。
・豊かな文化と自然がある。
・自然に包まれ、良い環境であることを誇りに思う。
・山河は美しく、自然が豊か。
・山・川を中心とした大自然の素晴らしさ。
・豊かな森林と清流。
・北アルプスの素晴らしい眺望と、盆地に田園風景が残る自然豊かなところ。
・美しい北アルプスの山々に癒されます。
・乗鞍の山々。
・空気がきれい。
・水と空気と野菜が良い。
・動植物が自然のまま豊か。
・夏の朝と夕方の涼しさが良い。静かな町と自然の美しさ。
生活環境
・まちがきれい。
・市街地がきれい(清掃)。
・まちの通りや川がきれいなところ。
・まち全体が美しい。ゴミなどが落ちていない。
・道路やまちにゴミがないところ。
・きれい好きな道路と市民。
・市内を歩いてみても、目立ったゴミも落ちてなく、自分の家の周りは各自清掃に努めている成果と自負しています。
・町並みを歩いて、ゴミ等あまり(ほとんど)落ちていなくて、美しいまちだと思います。
・ゴミ処理の仕方も市民が協力的。
・自然がとても美しく、ゴミの分別や環境保全に力を入れており、地域の人は、きれいな水を利用して、生活の安定を図っていて、素晴らしいと思います。
景観
・古い町並。
・古い町並が残されている。
・古い町並は好きです。
・古い町並や伝統行事を保存し継続しているところです。

・やっぱり古い町並。でも、そこに住まれる人は大変だと思います。
・風景がきれい。
・景色が良い。
・美しい風景。
・山並み。
・道路や景観が整備されている。
・年中、景色や文化を楽しむことができる。
・高山の人達は、家をとってもきれいに使っていると思います。だから、中心部のみならず、町並みがとてもきれいだと思います。
・私は古い町並に住んでいます。今までは古い家を守って誇りに思ってきました。しかし、近頃まちは落ち着きがなく、変わっていつてます。
・都会に比べ、静かで落ち着いている。春や秋はもちろんのこと夏も冬も美しい。
・古い家屋がきれいに残っている。大事にされている。高層ビルが少なく、ゆったりしている。
学校教育
・教職員が勤勉で、子どもへの豊かな教育を実践している。
スポーツ
・ウルトラマラソンをこれからも続けてほしい。
文化芸術
・年中、景色や文化を楽しむことができる。
歴史文化
・祭り。
・祭りの素晴らしさ。
・春秋の祭り行事。
・歴史。
・歴史あるまち。
・地方でありながら歴史がある。
・歴史のあるまちで美しいところです。
・古い町並や伝統行事を保存し継続しているところです。
・古い建物や文化財が多いところ。
・先祖が残してくれた文化遺産。
・古い文化財等が残っていること。
・伝統的文化・歴史。
・伝統文化を引き継いでいるところ。
・自然環境に恵まれており、古い文化も保たれている。
・陣屋。
・博物館。
・昔からのものを大切にし、観光施設として活用している。
・古き良きものがたくさん残るまち。歴史が息づくまち。
・金森文化・天領文化が生きている飛騨高山。

・私は、他所から移り住んで 11 年余り。出身も高山ではありませんが、高山市内の神社仏閣・昔の町並・高山祭・飛騨の匠・酒造等々、文化の歴史・深さを感じます。都から遠く離れていても、幕府直轄地として統治されたのは納得できます。
・金森長近、天領、高山城、めでた、馬場町等地名に現れる歴史、人情、のんびりした町の空気、本来の古い町並、伝統文化、茶道、渋草、春慶。なくなりそうなものばかり。
児童福祉
・子どもたちの表情が穏やかで豊かなところ。
・自然が豊かで、子どもたちに日常生活で感じられるところ。
・子どもたちが素直で、温かい環境の中で教育が受けられる。
・待機児童がなく、豊かな幼児教育が推進されている。
・中学生までの医療費無償化は、子どもを育てやすい環境を作っている。
土地利用
・ショッピングモールは近くにないが、住むには断然いい。
安全
・安心して暮らせる土地柄。
・まちの治安も良くて、比較的静か。
交流
・人と人が近くやさしさを感じます。
・住民の結びつきが強く、互いに協力し合う関係が築かれている。
・相互扶助の精神が根付いている。
・つながりが密(いい時・悪いときもありますが・・・)。
・人付き合いの濃い部分が良くも悪くもある。
・住み慣れたところで近所助け合っのんびり暮らしているので、とても幸せです。
人柄
・人の人情。
・人情がある(やさしさ・世話好き)。
・比較的人情味が厚い。
・市民の人柄・人情が素晴らしい。
・人があたたかい。
・人間的にあたたかい所。
・人柄があたたかいところ。
・市民は親切で、やさしい。心があたたかい。
・人々のやさしさ(対応・案内)。
・自然が多く、人間も素朴。
・少しシャイだけど、他人を大事にする人柄だと思います。
その他
・何よりも生まれ育ったところ。
・生まれながらに暮らしています。
・誇りに感じられ住みよい場所ですから、今住んでる人を大切にしてほしいです。
・住みよいまちである。地域を大切に思っている。平湯の環境が好きで、愛知県より移住しました。

・住み慣れた場所ゆえの愛着でしょうか。観光も建物も人情も昭和とはずいぶん変わりました。豊かな暮らしぶりはお金だけでないところにいっぱいあると思います。
・宴会料理(会席)と宴会作法。
・生活に比較的便利。
・高山に住んでいることが誇りですので、住民の人を大切にしてほしいです。
・誇りや愛着のあったものがだんだんなくなり、残念です。
・最近の高山には、誇りも愛着も感じられない。里山も落ち着きもなく、雑然とした高山になってしまった。

2 暮らしにくさや不安を感じるところ

問2 あなたは、高山市のどのようなところに暮らしにくさや不安を感じていますか。

観光
・旧高山市の町中が、近年暮らしにくくなっています。観光客が多すぎ、観光公害が発生しています。町中の空洞化問題はありますが、空洞を埋めるのが、ホテル・民泊・土産物屋など観光客のための施設では、住民の暮らしは追いやられてしまいます。古い町並とともに人々の生活があるところが高山の魅力だと思いますが、町中はこの先観光客しかいない地域になると思います。
・以前高山へ来て、とても感じが良かったので、また来てみたら、本当にがっかりし、今後来たくないというお客様からの言葉を何回もいただきました。食べながら歩くのは当たり前になり、道路は並んで行列ができ、ゆっくり歩くこともできません。情緒があるのは、夜だけです。風情がなくなっています。早期対応が必要です。何か良い案を考えて下さい。
・観光客が多いのはありがたいが、マナーが悪い。事故が心配。
・観光スポットがマンネリ化している。観光施設の周辺がビジネス中心、俗化しており、懸念している。
商業
・山田町・新宮町にスーパーがないので、困ります。
・農村部にスーパーがない。車のない人は買い物難民となるため、行政の力で何とかしてほしい。
・スーパーなどが近くにない。小売りのお店も少なくなり、買い物が不便。
・お店やスーパーが近くにないので、コンビニなどで買い物をすることが多い。会社から家までが遠く、通うのにとっても不便さを感じる。
・大型ショッピングセンター等ができてほしい。
・大型スーパー（国府町）が閉店したり、病院へのバス便が減らされたり、買い物難民化しつつある。
・飲食店が早く閉まってしまう。せっかく観光に来た外国人も夜コンビニでコーヒーを飲んでいたりする。
・商店街がゴースタウンになっている。
・本町などの商店街が、シャッター通りとなってさみしい。映画館がない。
・お店が「売ってやる」といった態度で感じが悪い。会計で外国人と日本人とを差別するのを見ると本当にどうかと思う。悲しくなる。
・飲食店やラーメン屋は、地域を限定してほしい。特に夜は、外国の様。
労働
・若者が定着できる仕事（職業）がない。
・若者が大学を出てからの職がない。
・若者の働く場がない（選べない）。
・将来 AI 化となると言われていますが、仕事があるのか心配。
農業
・国内需給率が低下している昨今、TPP などによる影響を考えると、これからの日本の農業はやっていけるのか。飛騨地域の農業はどうなるのか。
林業
・市では、山を大切に、未来の子どもにつなげようと口では立派なことを言うが、全然あてにならない。
海外戦略
・外国人に迎合しすぎる変化。

・外国人の対応が面倒である。観光地は住みにくい。
・外国人観光客の増加(特に中国人)で治安の悪さ・マナーの悪さ。
・外国人を含む観光客の増加はいいことだと思うが、ホテルや民泊ばかり増えて、将来が心配。
生活環境
・市長の決断力のないところ。いまだに火葬場やゴミ焼却場等決まらない。
・ゴミ処理場の今後といまだ決まらない火葬場の場所のこと。
・私の住んでいるところは、ゴミ焼却場の東側、風下の東山台ですが、今でも悪臭に悩まされ、ぜんそくの子どもも多いのですが、さらに接近しての新設計画があり、住民はおびえています。環境都市をうたっているが、住民を苦しめるこの計画は即時白紙にし、住宅のない所で計画してください。住民 500 名以上の本当の願いです。
・活気のある高山である半面、動物たちとの共生に対する対策が不十分。クマやシカの問題、野良猫問題、犬の飼育方法の問題。海外の観光客からの弱った猫の保護依頼について、劣悪な環境で飼育されていたという内容でブログ批判あり。
景観
・まちなかの酒造店など、素晴らしい建物を平気で壊すのを許す行政の責任は。駅がホチキスの針のようになってしまい、悲しい。
学校教育
・未来の高山人を育てていく教育環境に、十分な予算が割り振られているのか疑問。
・学校が少なく、遠すぎて、通学の時間や安全への不安が大きいです。雪の日は子どもにかかる負担が大きすぎます。市内もバスを出すなど、未来ある子どもへの安全対策にはしっかりと一刻も早く改善をお願いします。全国で増加する高齢ドライバーの事故は、この町でも起こりえます。すぐにでもバスを出してほしいです。
・部活動が一日も休みがなく、インフルエンザにかかったとしても休ませてもらえません。お盆には祖父母にも会いたいし、受験勉強だっと思っています。毎日帰るのは夜の 10 時過ぎで体が壊れてしまいそうです。
・娘が市内の高校に通っているのですが、部活が終わるのがいつも夜 10 時を過ぎているので困っています。学校に言っても「本人の責任問題」と言われるだけ。市でルールを決めてほしいです。
文化芸術
・映画館がない。
・文化的施設が少なく、若い人がかわいそう。若年者が定着しない。映画も見られないまち。
地域福祉
・老人ばかりで冬の雪かきがつらい。負担多い。
・冬は雪の心配がある。除雪ができない。
・冬になると雪が多いとき、雪のまたじに困る。屋根の雪下ろしや始末に。年齢もきつくなるばかり。
・不安は雪です。女一人で住んでいて、高齢のため、天気予報で「雪」と言われると、雪またじ・雪おろしを考えて恐怖に近い思いで暮らしています。
・雪またじ。
・最近、隣近所のふれあいの場が少なく、回覧板ですら隣に声掛けすることなく郵便受けに入れてある状態です。高齢者が増えていく現在、独居老人宅に近所の人たちが目を配り、生ゴミ等の搬出に手を差し伸べてあげられるような助け合い精神を持ってほしいと願っています。
児童福祉
・東京目黒の虐待事件は、本当に悲しい思いをした。高山市や岐阜県では、こども相談センターと警察や行政との情報共有はできているのか。
・自然を生かし、安全で遊べるところがほしい。子どもに高山で素敵な思い出を作ってあげたい。

・子ども目線の子育て支援が少ない。
・子どもが遊べるところがない。
高齢者福祉
・年金暮らしで預貯金もわずか。病気や災害にあったらどうしようと先行き不安。
・独居老人、年老いて二人暮らしの人が多いです。病院・買い物・用事等生き抜いていくことが大変だと思います。
・買い物をするとき、とにかく高い。手を出さない現状。人それぞれですが、老後破産をしないように。これからは、治療費との戦い。
・高齢化が進んで、医療・介護保険料が上がるばかり。
・介護者への援助を考えてほしい(介護3でも差があり過ぎです)。
・介護施設はたくさんできているが、費用が高くて利用できない。
医療
・体調が悪くて病院に行っても、検査をしてもらえない。
・医療ミスがとても多い。医者の暴言も多い。医療を受けるために岐阜の方まで行かなければならない。
・高山赤十字病院の医者不足。飛騨唯一の総合病院であるのに、循環器や眼科のドクター不足で、総合病院として十分に機能していない状態。市民の命が第一と思います。高山市も観光に力を入れていることは良いことと思いますが、今後の高山の事を考えると、早く高山赤十字病院を建て直して、医療の面で安心して暮らせる高山にしてほしいです。久美愛病院のように、少し郊外に建ててしまうと、交通の便が悪くて大変だという声を多く聞くため、できるだけ市内の交通の便の良い所を望みます。
土地利用
・土地が高い。
・ホテルの乱立が心配です。高山はだんだん俗化していくようです。
・高齢化やドーナツ化で住みにくくなりつつあります。
・楽しい場所が少ない(特に小学校中・高学年、中学生・高校生等の遊ぶところがない)。
・高山らしからぬ高山駅の建物。暗いイメージの通路のわけのわからない展示物等。
道路
・家の前の道路を除雪してもらえない。
・道路除雪対策の弱さ。道路の半分ほどしか除雪されないため、自分で残りを裏の川まで運んでいるが、歳を重ねるにつけ、辛くなってきている。
・高山は除雪がきれいにされず、町中はボコボコです。古川・神岡はきれいに除雪されてます。どうにかしてもらいたい。
・雪またじについての不安。防火水槽が設置されているのと同じ考えで、雪またじをした雪を溜めておける場所を作ってほしい。
・観光地に向かう道路以外の道路の整備が悪い。
・東西南北どちらへ出かけるにも交通の便が悪いと思います。災害が起きた時の孤立が心配です。
・交通アクセスをもっとよくするため、富山方面への高速道路の2車線化(片側)。
・市内の道路はがたつきが多く、歩きづらいし、せっかくの緑の風景にもっと力を入れ、美しいまちづくりにしてほしい。
・岡本町「けやき通り」の歩道がとても危険です。狭い歩道の街路樹の根が盛り上がり、通行に支障をきたしています。やむなく自転車で通ることもありますが、とても危ないです。狭い道に街路樹は必要ありません。
・山を切り、道ばかり作り。使わない道があちこちにあり、情けない。
・自転車や歩くための道がしっかりしていない。車の先進国(ドイツ)は、歩く道(自転車用)がしっかり整っている。

・道路が狭く、有料駐車場(月極)が高く、1 万円以上する。
・車いすで移動できるところが少ないように感じます。
・市の柱が邪魔。
・堤防の護岸工事は、どうして順番に行わないのかわからない。重機を入れるのにあちこちやり直しているが、業者と何かあるのか疑ってしまう。高山市は、在住者に刺激的なところは皆無。
公共交通
・交通弱者が大幅に増え、とても不便になる。
・高齢となり、車の運転を控えるようになった時、生活の足をどのように確保すればよいのか。
・郊外は交通が不便で、高齢者は病院や買い物にも簡単に出かけられない。
・路線バス・タクシーの補助などを充実してください。年寄りでも車の免許を返せません。もっと乗り場や時間を増加してほしい。観光客も利用可で、住民中心で。
・清見地域に暮らしていますが、バスなど公共の交通機関が少なく、困っています。
・バスを利用したいが、本数が少なく車がないと不便。高齢者の運転のマナーが悪く、今後事故に巻き込まれそう。
・バスの本数・路線を増やしてほしい。
・のらマイカーやまちなみバスなど、市内を回る路線バスの運行が少なく、限られたものしか利用できない。
・のらマイカーで乗り換えなしで病院へ行きたいです。どうしてもタクシーで行かねばならず、お金がかかり大変です。
・病院へ行く交通の不便(のらマイカーは時間が合わない)。買い物に行く交通の不便(駅西方面の買い物にも行きたい)。最もバスなどを利用したい文化会館の催物にも行けない。
・JR高山線、バスなどが不便で、車がないと生活できない。
・交通アクセスをもっとよくするため、JR の特急を増便してほしい。
・まわりの工事等で高山駅の案内がわかりにくく、利用しにくい。
・高山駅の 2 階にトイレがなくとても不便。改札の内側にはあるが、外にほしい。
上下水道
・下水道代が高い。
・上水道が整備されていないこと。
情報
・メディアやスマホなどの通信手段は便利ですが、危険でもあります。五感と五体を使って人間力を養えるまちになるといいです。
・ケーブルテレビに字幕を付けてくださるようぜひお願いします。耳が聞こえませんがケーブル TV をもっと楽しみたいです。
安全
・最近、不審者情報が頻回にメール配信される。子どもたちの安心・安全の確保をどのように行っていけばよいのか。
・コンビニ強盗は、よそのところの出来事と思っていた。
・街灯が多すぎて、夜が明るすぎる。
・外国人が民泊し、様々な面で不安(治安)。
・横断歩道で待っている人がいても、車は止まらず、走り抜ける。弱者を大切にするマナーある市民でありたい。
協働
・町内会の役員になったが一日も休みがない。法事も里帰りもキャンセル。飲み会続きで体がもたない。

・町内会が一人暮らしの負担を大きくしていること。
・町内会の行事が強制的で困っています。私は病気で運動ができないのに、運動会は全員参加。月に1回は飲み会があり、役員に選ばれば絶対参加。おかしいです。
・自分が暮らす地域では、住民全員が町内会に加入しているが、他地域においては町内会に加入しない人がいると聞く。町内会加入を条例で義務付けることはできないものか。
・GWもお盆も正月も三連休も絶対参加の町内行事がある。子どもを旅行に連れていけないし、実家にも帰れない。
・私は85歳の一人暮らしですが、町内会の川掃除がとてもつらいです。参加しないと町内会費が倍になるため、年金暮らしで会費が倍になるのは嫌で無理して参加していますが、年齢的に命の危機さえ感じます。
・町内会では、一人暮らしの人などを排除する動きがあり、健常者のみを市民とする見方が許せないです。
・スーパーも職場も家の近くのため、車を持っていなかったのですが、町内会の役員になったら必要となるため、購入するように言われた。
・町内会は老人の集まりで、核家族の世帯には負担でしかない。無駄な公民館掃除や草刈り。会合や親睦会など。共働き核家族は、時間もお金もないのに休みに駆り出され、欠席すればお金の徴収。出席してもほとんどがやっているフリで人数が多すぎるので無駄な時間でしかない。草刈り等は市税で対応してほしい。掃除でしか入ったことのない公民館の費用も毎月徴収され意味が分からない。世帯数がかなり増えている町内なのに町内会費は減らず、毎月数千円の負担は大きい。成人前の子どもがいる世帯は町内会を免除してほしい。家族に使う貴重な時間とお金に使わせてほしい。定年後の時間とお金に余裕がある方で勝手にやってほしいことばかり。町内会に入っていてよかったと思う事が一つもない。どうでもいい情報ばかりの回覧板もメールでやればいいし、時代に合わないことが多すぎて若者が生活しづらいまち。若者目線に立つ中高年以上の人間が少なすぎる。
・空き家も多くなっていることもあり、近所付き合いが昔と違ってきているように思い、さみしいです。助け合いなどのつながりがもっと深くなれば良いと思います。
・地域社会との付き合い(神社・社教関係)。
・地域内のつながりがだんだん薄くなっている。個人主義が強くなっている。他人の心を推し量る心を培う必要がある。
行財政運営
・税が高い。
・高山市議会議員は、本当に頭の良い人たちが議員になっているのか、有権者が本当にこの人にやってほしいと思って投票しているのか、ほかに立候補している人がいないから、仕方なく地元中心の人物に投票しているのではないかなど疑問である。
・市長の考え方。海外での視察の効果に疑問。
・市の提案に反対者が出るので話が進まない。
その他
・アパートの家賃が高い。
・定年になり、戻ってきたが、狭い地域で自由がきかない。
・人口減。
・少子化。若者が減ってきている。
・将来高齢化により、生産人口の減少。若者が六大都市に行き、高山市の人口が減る。その対策が急務である。
・若者の県外流出と高齢者の増加が同時に起こっている中、今後市として成り立っていくのか？
・「まつり」以外の娯楽がない。
・他人の目を気にしすぎ、閉鎖的。自殺者が多い。私個人は不安なしで暮らしやすい。

・私の町内は、戸数 52 戸。病院・保育園・小学校があり、住みやすいところですが、10 年後は 5 戸、20 年後は 7 戸くらい空きやになる恐れがあり、田畑も 3～4 町歩耕作放棄地になると思います。
・少子高齢化の中にあって、行政がうまく機能していることには感心します。今後の行政方針も支持します。ただ、私が住んでいるところも含めて、その地区特有の古い因習にとらわれて排他的なところが快く思いません。一言でいうと「民度が低い」です。
・平湯バスターミナルの前に、高山市のトイレがあります。最近は貸し切りバスが何十台も止まり、多くの方が利用されますが、中へ入ってみると、トイレの数が少なく、古くて汚く、高齢者も多いのにほとんど和式で、洗面所も薄暗く、鏡も古びている。早急に改善していただくようお願いします。たまたま少し前に、長野県の梓川 SA 下り線トイレを視察してきました。赤ちゃんからご老人まで利用できるよう、色々な方に対応できる洋式トイレで、とても快適でした。中は広く、明るく、エアコンも入って涼しかったです。
・冬季に寒いのがつらいです。
・冬季はヒーターを巻いても、水を出しっぱなしにしないと凍結してしまう。
・どんどん自然を壊し、道を作り、だんだん住みにくくなっている。ごちゃごちゃしていて、高山(田舎)らしさがない。
・30 年後は、高山市は宗教都市になる。
・税金の無駄遣い。

パブリックコメント

I 案件名

第八次総合計画の見直し素案

II 募集期間

令和元年12月27日～令和2年1月27日

III 集計結果

意見提出人数 2人

意見数 7件

IV 意見及び検討結果等

①修正します	意見に基づき、原案を修正するもの
②意見として承ります	原案は修正しないが、今後の取組の参考とするもの
③原案のとおりとします	検討した結果、修正しないもの
④その他	原案に関する意見でないもの（感想や質問）に回答するもの

No.	項目	意見	検討結果及びその理由
1	基本理念「協働」について	基本理念における説明では、「広大な市域における更なる一体感の醸成を図る」とされているが、一体感の醸成は図るものでなく、歳月の経過と共に市民の内心の高まりや意識で育まれるものではないか。一体感による行政運営の「公正・公平性」により、個別課題の解決や施策への対応が遅れていると聞き及ぶ。「一体感の醸成」というフレーズの考え方と対応、見解を示されたい。 また、「地域性」重視の視点を踏まえ、基本理念の「協働」の意味について幅を持たせるべきである。	② 総合計画の見直しにおいて、地域に関わる多様な主体が同じ目線に立って取り組みを実践できるよう地域の特徴などを活かした「地域のまちづくりの方向性」を示し、各地域がまちづくりの方向性に基づき、地域での活動をすすめるとともに、各地域が都市機能上の適切な役割分担のもと、地域の枠を超えて互いに補完し合い、市全体の地域振興を図ることとしています。こうしたことが更なる一体感の醸成につながるものと考えています。 基本理念の「協働」については、市民の思いを尊重しながら、市民、地域住民組織、事業者、行政など地域に関わる多様な主体が力を合わせ、それぞれの地域の特性を活かした活動をすすめるとともに、地域の枠を超えて互いに補完しあうことにより、更なる一体感の醸成を図るという考え方であり、地域性についても重視しています。

2	「高齢者の技術・経験の活用」について	シルバー人材センターへの支援が明記されているが、高齢者就業の選択肢を更に拡大する方向性が求められている中、当センターについてのみを優先し、一極集中をイメージされることを再検討するとともに、就業できる機会の確保と受け入れ側の競争性について取り組むべきものとする。	② まちづくり戦略1－(1)「多様な働き方に適応した労働環境の構築」において、自分の持つ能力や生活スタイルなどに応じて柔軟に働くことができる労働環境の整備をすすめることとしています。シルバー人材センターへの支援は、当該まちづくり戦略の重視すべきポイント「高齢者の技術・経験の活用」において、1つの事例として記載しているものです。 なお、シルバー人材センターは、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、高年齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する公益法人であり、引き続き支援してまいります。
3	国府地域のまちづくりについて	国府地域のまちづくりの方向性において、「郷土資料の適切な管理」への言及がなされたことは、地域課題に即した内容の追記でありありがたい。ぜひ、適切な管理体制の整備・構築を具体化していただきたい。 また、市全体を見渡した収蔵体制の検討を早急にすすめていただくとともに、収蔵施設や展示施設の配置について検討をすすめ、地域の持続可能なまちづくりに必要な施設に関してはぜひ整備をしていただきたい。	② まちづくり戦略2－(5)「歴史・伝統の保存、継承、活用」において、文化財の収蔵体制のあり方の検討をすすめることとしています。収蔵施設の現状把握や保存すべき資料の選定、収蔵場所の整理などをすすめるとともに、歴史資源を保管・展示する視点から、施設のあり方を整理した上で施設整備について検討します。
4	文化財保存活用地域計画の策定について	文化財保護法の改正を受け、各地の自治体では歴史文化基本構想の内容を継承しつつ、「文化財保存活用地域計画」の策定がすすめられる傾向があり、高山市においても文化財収蔵体制の検討と計画策定を併せてすすめるべきである。	② 総合計画に基づく教育分野の基本計画である次期教育振興基本計画において、文化財の収蔵体制の検討と併せ「文化財保存活用地域計画」の策定に向けて、取り組むこととしています。

5	歴史に関する調査研究について	市史編纂事業による新たな知見の獲得やこれまで長期に渡って集積されてきた豊富かつ貴重な資料の整理・活用、新たな資料の調査など、次なる市史編纂事業ないしは市域の歴史に関する調査研究に関する項目を計画に盛り込んでもらいたい。	②	総合計画に基づく教育分野の基本計画である次期教育振興基本計画において、歴史資料等の調査や公開、活用について取り組むこととしています。
6	文化財に関する組織体制について	まちづくり戦略2-(5)の中には、多様な事業が含有されるが、現在の文化財課を中心とした組織体制にはマンパワーの限界があり、組織ないし人的な拡充措置を図り事業を推進していただきたい。	②	組織体制や人員体制については、これまでも多様化・複雑化する市民ニーズ、時代の変化等に伴う行政課題や新たな事業の推進に迅速・的確に対応していくため、随時必要な組織体制の見直しや専門職員等の採用を実施しています。 まちづくり戦略2-(5)の推進と実現にあたっては、引き続き文化財に対する専門的な知識や技術を有する職員の確保や育成に取り組むとともに、効率的かつ効果的な組織体制の整備及び各部局・支所間の一層の連携に努めてまいります。
7	長期的な公共サービスの提供について	公共施設等総合管理計画の中で行政財産のみを対象としているが、市民からみれば普通財産も同じ公共施設である。公共サービスを検討する場合には、部局の枠組みを超えた形で、総合計画におけるまちづくり戦略や地域ごとのまちづくりの方向性、全体のビジョンの中で公共施設のあり方を柔軟に検討していただきたい。 また、公共施設等総合管理計画において、総合計画との整合性を十分検討していただきたい。	④	公共施設等総合管理計画においては、公共施設の配置に関する基本的な考え方として、地域ごと、または複数の地域をまとめた範囲ごとなど効果的な配置のあり方を検討することとしています。また、当該計画では、普通財産の取り扱いについて具体的には触れていませんが、基本方針における公共施設の管理・運営に関する基本的な考え方の一つとして「ファシリティマネジメントの実施方針」を定めており、この考えのもと、実施計画の推進にあたっては、普通財産も含めた施設等の有効活用などにも取り組むこととしています。